
麻生リトル・ラグーメン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

三位一体の連携がうまくいった夏合宿

副校長(夏合宿担当) 重住 英彰

山光館での夏合宿は今年で15回目です。久しぶりに梅雨明けが早かったので事前にグラウンドコンディションの心配をすることなく、土曜日の終日練習をみっちりこなすことができました。その練習成果を携えて日曜日の菅平ミニラグビージャンボリーに臨み、そして最終の月曜日にはRS恒例の企画に沸きました。各学年の練習内容や対外試合での様子は各チーフの欄に委ね、ここでは子供たちの団体共同生活の側面をご紹介します。

今年の参加は3年生と5年生の人数が多いため、各班では多数派の3年生が初参加で右往左往しており、その中で5年生は自由奔放に振る舞うので、班長格の6年生にとって4年生を取り込むことが班としての秩序を維持する秘訣でした。実際、ある班長は、毎朝4年生に「すぐ布団をあげなさい」と指示し、同時に3年生には「4年生を見習うように」と促し、さらに5年生に対しては「下級生だけにやらせるな」と極めて巧みに班員全員に整理整頓を徹底させていました。

このようにラグビー以外でも団体生活の経験は夏合宿の大事な目的です。とりわけ子供同士の『縦の関係』は日大稲城Gではなかなか得られない貴重な体験であり、新鮮な思い出になってほしいものです。

6年生はいずれも規則を重視した班運営を心掛けており、5年生以下もこころ一番では素直に班長の指示に従ったので、どの班にも大きなトラブルは発生せず、部屋の中は比較的清潔で忘れ物も少なかったようです。ただ月曜日の早朝は、上級生が『なでしこジャパン』の決勝戦の放送に大声をあげて興奮していたため眠れなくなった3年生がコーチ部屋に疎開してきました。しかし、そこもTV観戦中で、一部の3年生をすっかり寝不足にしまいました。

食事の時刻に真っ先に食堂に現れるのは3年生だが、班単位でなければ食卓に着けなません。しかし6年生は遅くまで練習なので班長代行の5年生に頼ろうとしますが、5年生はいつも班を越えて一緒に遊んでばかりで当てになりません。そこで4年生が立ち上がり「3～4年は定刻に揃っているのだから先に食べさせてください。」と訴えてきます。念のために遊びに夢中な5年生に整列を促すと、『食べそびれる』と思ったのか、直ちに各班に戻り事態の收拾に努めました。

これらから来年は、この多くの3年生が各班で下級生の模範となり、4年生は賢明な中核を担い、多数の5年生が集団指導体制によって楽しい夏合宿を作り上げてくれることでしょう。

夏合宿の3泊4日間で最も伸びた子供や最も頑張った子供に毎年『菅平賞』を授与し、その努力を全員で称えました。

今年は、次の精鋭が受賞し晴れ晴れとした笑顔を見せてくれました。

- 3年生 萬場 康生 「元気よく、激しく」という目標を最も力強く実践
- 4年生 森田 恵一郎 大きな声を出し、戦う強い気持ちを抱き、試合もリード
- 5年生 斎藤 裕太 厳しい練習に耐えた成果を試合で発揮し劇的な逆転を担った
- 6年生 越野 良我 厳しいタックル、激しいスィープを修得

いずれも名誉のキャップをかぶった姿は逞しく映り、この日の大きな自信が秋の大会でのプレーを変貌させることでしょう。

このように子供たちは激しい練習を大きな怪我もなく概ね無事に乗り越え、またコーチも誰一人スポーツ団体保険の世話になることなく、夏合宿を大成功に終了させることができました。その背景には夏合宿担当のお母様方による献身的なご支援がありました。お母様方の仕事は、早朝の起床直後からの朝食準備に始まり、日中は激しい炎天下での練習に伴い、各学年のテントに大量の氷と水分を補給し続け、昼食や夕食の前には短時間でご飯の盛り付けをこなしていただきました。さらに子供たちが就寝後も、喉が潤いた子供のために廊下に麦茶を備えるなど、まさに24時間体制で子供たちの健康と安全のためにご尽力いただきました。

子供たちに「頑張れ！」と言い放つだけでは子供たちは動きません。グラウンドでコーチが率先して技術面の見本を示すだけでなく、夏合宿においては子供たちを取り囲む『衣食住』の全ての生活局面において大人との触れ合いが団体生活をおくる上での大きな実践教育の糧となります。

今回の夏合宿を運営するためには多岐に亘る仕事を多くの方々には担っていただき、それぞれの局面で子供たちに真正面から対応していただいたおかげで、子供たちはラグビーはもとより充実した日々を過ごすことができました。

このように、これまでの伝統を引き継ぎつつも今年なりの新しい工夫も加えられた本合宿は、皆さんの熱意の結集のもと誰にとっても大成功となりました。

【参考:試合結果】

〈菅平ミニラグビーフェスティバル〉

低学年(2年生が主体)

- 麻生 ●25-60○ 栃木市 RS
- 麻生 ○75-20● 常総 Jr. RS
- 麻生 ●20-85○ 江東 RS
- 麻生 ○65-35● 大和 RS

3年生

- 麻生 B ●20-60○ 大和 RS
- 麻生 C ●10-40○ 江戸川区 RS
- 麻生 B ●10-40○ 京都プログレ RS
- 麻生 C ● 0-55○ 布施 RS
- 麻生 A ●20-30○ 宇都宮 RS
- 麻生 A ○55- 0● 都留 RS

4年生

- 麻生 ○55-0● 常総 Jr. RS
- 麻生 ○65-0● 長野市 RS

5年生

- 麻生赤 ○25-10● 流経ドラゴンズ U12
- 麻生紺 ○25-15● 高崎 RS
- 麻生赤 ○35-25● 京都プログレ RS
- 麻生紺 ○25-20● 宇都宮 RS

6年生

- 麻生 ● 0-30○ 布施 RS
- 麻生 ○55- 5● 布施 RS

〈RS内 学年対抗戦〉

中学年対抗戦

- 3年生 A ●0-15○ 4年生
- 3年生 B ●0-30○ 4年生
- 3年生 C ●0-30○ 4年生

高学年対抗戦

- 5年生赤 ●0-15○ 6年生
- 5年生紺 ●5-15○ 6年生

6年生 vs コーチ・父母

- 6年生 ●5-10○ コーチ・父母(トライ/加賀・小作ママ)

コーチ紅白戦

- 赤(三浦組) ○5-0● 白(牧野組)

2011年夏合宿の総括

幹事長 加賀

合宿に参加したコーチとお手伝いの父母の皆さんお疲れ様でした。以下に夏合宿の総括を報告します。

1. 参加者は小学生単独で、昨年より増えてピーク124名が参加しました。

日程 内訳	15(金)				16(土)				17(日)				18(月)		
	バス往路	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	夕食	宿泊	朝食	昼食	バス復路
生徒	57		57	58	60	62	62	63	64	64	65	64	65	64	60
コーチ男	16		18	22	38	40	40	41	43	42	41	37	38	31	17
コーチ女	0		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
母	8		8	8	9	10	10	10	11	11	9	9	9	14	12
父	1		1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
子供	0		0	1	1	2	2	2	3	3	1	1	1	4	3
合計	82		85	91	110	117	117	119	124	123	118	113	115	115	93
去年	74		77	79	95	106	108	104	106	112	121	103	105	98	78

2. 行きのバスは、16時45分黒川出発で府中ICから八王子・圏央道経由で、途中上中里SAで休憩、横川SAで弁当・飲み物を配布し車中で食べ、予定通り20時40分に到着しました。

帰りは13時出発、上中里SAでトイレ休憩し、途中事故渋滞がありましたが、18時帰着しました。

バスは昨年に引き続き小田急バスを利用し、トイレ付バスの号車番号違いに気づき荷物を残し人間のみ入替えるトラブルがありましたが、帰りは2台ともトイレ付バスで車中ではビデオやDVDで楽しみました。

3. 宿は、秦野RSと同宿でしたが、人数が昨年より増えたため、女性はシダハウスを利用し、新館に子供8部屋と5・6年コーチ、それ以外のコーチは旧館と大広間で対応しました。

4. 天気は、4日間とも晴天で3日間とも小学校裏の山光館第2グラウンドで行い、昨年のように梅雨の影響もなく柔らかな芝生を全面利用できました。

5. 花火は、武井・大坪・小山田・太田コーチがグラウンドにて準備し、子供たちに喜んでいただきました。

6. 夜のコーチミーティングは大広間を利用して開催され、ママたちも多数参加していただき、大広間の宿泊者もいることから23時前には終了し、その後は各部屋での2次会も開催されました。

総務部は熊谷部長以下、三沢・向野・宮内・亀田・野田・津国コーチが担当していただき、初日は宿の冷えたビンビールが飲み、その後も缶ビール・氷結と焼酎・日本酒と乾き物中心から缶詰なども増えて美味いつまみが提供されました。しかし最近では昼間から飲むコーチも少なくなって来ているようです。恒例のコーチ料理はBBQ時にカレーなどを作って楽しんでいただきました。

会費は昨年同様ですが、お酒やつまみの事前購入などで黒字になり、コーチ会費に上納しました。

また、各学年父母からのビールなどの差し入れ、ありがとうございました。

7. 試合は17日にミニジャンボリーに参加し各学年最低2試合行いました。

8. コーチの試合は、日曜日ではなく18日月曜日の朝食中に12分ハーフで行い、校長率いる赤チームの勝ちでした。

9. けが人は小作君が頭のコブが皮下腫で須坂の病院で診察を受け、大坪君が手の指先の骨折程度で、心配されていたコーチの怪我はありませんでした。

10. 宿での水分補給としてポカリスエットをジャグジーにてサービスしました。

また食事中は各班にコーチが1人入って、子供たちの食事状況を把握するようにしました。

一昨年からの着替え置場には各学年でまとめるように表示し、宿舎でのルールなどをまとめた「夏合宿のしおり」の配布効果で3年の忘れ物大将以外は忘れ物も少なく、集合時間など良くなりました。

ただし、最終日は荷物整理に時間が掛かり4つの班が集合時間に遅れました。

最後に夏合宿反省会兼打ち上げは7月31日に28人が参加して多満にて実施しましたが、反省項目は①トイレ付バスは好評ですが、座席数が少なくなるため帰りのお土産整理は上田ICまでに行い、荷物棚に収納するなどでした。

「夏合宿夜の部」

副校長 古田 十

今年もやってまいりました菅平！合宿恒例の番外編、夜の次第をご報告させていただきます。

＜初日：前夜祭。司会野田コーチ＞

近年の夏合宿は、学校の関係で夕刻の出発となり、菅平到着は21時前後。そのため、子供達は即就寝、大人たちは夜を持って余すことになり、自然と大広間へ。合宿の直前に三浦校長に初孫「凧翔」(なぎと)くん誕生の知らせがあり、牧野副幹事長の指示のもと、熊谷コーチの手配で日本酒「初孫」の贈呈。校長の一气飲みからみんなに振る舞われました。

＜二日目・・・初日練習の報告とジャンボリーの抱負。司会濱田コーチ＞

二日目も夕食・ミーティングの後、大広間へ。土曜日からのみなさんが加わり、大宴会となります。合宿中充分練習ができるのがこの1日のため、コーチ陣はこの1日をどう過ごすかを一生懸命考えてきます。その1日の報告と翌日のジャンボリー(交流試合)への意気込み(子供達より気持が強い!)などをコーチ・保護者が語ります。

＜三日目・・・ジャンボリー結果とコーチゲームのメンバー発表。司会野田コーチ＞

各コーチからジャンボリーでの試合結果の報告があります。なかでも、5年生はいい試合をしたようで、ぜひ小作チーフコーチの涙ながらのスピーチを聞きたかったのですが残念でした。また、コーチのスピーチのなかで、翌日の学年対抗試合に向け、特に対戦する下の学年のコーチはその意気込みを覗かせます(子供達より思いが強い!)。そして、合宿恒例のコーチゲームのメンバー発表。当日の練習中、上田コーチが練習の合間にグラウンドを歩き回ってメンバーを募り、夜の宴会でチーム分けをします。本年は、三浦校長のトイメンに前年まで現役トップリーグの米元コーチを充てました。三浦校長の意気込みが宴会の場で披露され! ?大いに盛り上がりました(実際の試合は・・・)。菅平合宿独特の、解放感、コーチの真剣さ、子供達の頑張りにも触発された大人たちの高揚感・・・そんなものが各関係者から口々に語られ、分かち合われることでコーチ・保護者間の一体感が図られていきます。なかなかあの雰囲気伝えるのは難しいですが、この3日間の夜の懇親会は合宿の重要なイベントとなっています。

教えていないことは山ほどある ～ ラグビーも復習と予習が大切 ～

技術指導担当 大森 昇

この文集が出る頃は、秋季交流戦の直前ですかね? 対戦ブロック、対戦相手が決まった県大会まであと数回の練習を残すタイミングでしょうか?

練習では上手く出来るけど、試合では上手くいかない。夏合宿では上手く出来ていたのに、夏休み明けの紅白戦では上手く出来ない。程度の差はあれど、どの学年もこんな感じではないでしょうか?

課題その1 = 身に着けたことを忘れている

夏合宿で身に着けたはずのスキル(出来るようになったこと)が出来なくなっていないですか? ひどい場合は前回練習で出来ていたことを忘れてしまっています。前週と同じ指導内容、練習メニューを行うことになってしまいます。

課題その2 = 試合を想定した練習メニューに辿り着けない

例えば、実際のゲームで通用するサインプレーを身に着けるためには、以下の3つのステップをクリアしなければなりません。

Step1: まっすぐ走ること、トップスピードでボールを貰う、精度の高いパス、力強いスweepなどの基礎プレーがしっかりと出来ていること

Step2: 防御役をつけ、タックラーが迫るプレッシャーの下でも正しくサインプレーが行えること

Step3: サインで形式的に決められたパスとランを行うのではなく、攻撃側が相手との間合いやパスのタイミングの判断を行うことにより、攻撃側のおとり役が防御プレーヤーを狙い通りに引き付けていること

現実には Step3 が完ペキに出来ている学年はなく、なかには Step1もおぼつかない学年もあるのではないのでしょうか? これでは算数で①九九⇒②円の面積⇒③扇形の面積、とステップを踏んで進みたいのに、ずっと九九をやっているようなものです。

サインプレー(1次攻撃)を例に取りましたが、実際のゲームでは他に、キックオフ、ラインアウト、ペナルティ、ゴール前キックなどのさまざまなシーンがあるので試合で困らないようにそれぞれの練習が必要です。さらに、実際の試合では攻撃は半分で、もう半分は防御です。ペナルティの防御、キックオフの防御、と攻撃種別と同じだけ防御の種類があります。実際の試合で強豪スクールを相手に自信を持てるシチュエーションはどの位あるでしょうか？

先週より今週の方が少し強くなっている。今週より来週の方がまた少しだけ強くなる。

ここ数年で県大会優勝を果たしているスクールはこれ(「先週より今週」)が出来ています。

麻生RS が現況(先週も今週もあまり変わらない)を脱することが出来れば、ゴールはグッと近づきます。

日曜日の午前中に新しいプレーをコーチから教わり、出来るようになります。コーチからアドバイスされた「ちょっとしたコツ」を覚えることによって上手く出来るようになります。キックを落とさないためには？／きれいな伸びるパスはどうすれば？／ボールを貰うための声は？／スweepの時どこを見るか？…… これらの「ちょっとしたコツ」を日曜日の午後から翌週の日曜日の朝までの間、わずかな時間でもよいので子供達に思い出されることがあれば、「出来ていたプレーが出来なくなる現象」は減るはずで、翌週の練習ではまた別の「新しいこと」を教えることが出来ます。

お母様方をお願いします。日曜日の練習の後、記憶が新鮮なうちに「今週教わったことの復習」と翌週の練習までに、「前回練習の呼び覚まし」をやりませんか？ 難しいことは何もありません。質問を2つ「前回はどうな練習をしたの？」「そのときコーチからどんな話があったか覚えている？」あとは訳の分からない、だらだらした説明があっても辛抱強く聞いてあげてください。これを日曜日に1回、翌金曜か土曜に1回、合計2回やって頂けると御子のプレーが激変します。ちょっとやって見て頂けますか？

中学生

夏合宿

DAGSコーチ 小松 正己

7月22日から25日までの3泊4日のDAGS菅平合宿も無事終わることができました。これも父母の皆様のご協力があったればこそそのことで、ありがとうございました。Cチームの夏合宿は初めてなので不安が多かったかと思いますが、合宿で何かをやるというわけではないのですがこれを乗り越えると体格的にも精神的にも中学生としてひと回り成長していきます。

これからミニ合宿も行い、日頃の練習の成果を発揮できるようチーム一丸となり県大会に臨みたいと思います。

『合宿を終えて』

DAGS 中学3年 横尾 昌哉

DAGS最後の合宿は二日間だけの参加になりました。練習では低く当たる事を意識して練習に参加しました。試合ではボールを持ったら強く当たる事を考えて試合にでました。今年の合宿では色々出来るようになった事があり、僕にとっては内容の濃い合宿になったと思っています。

また、今年のDAGSはチームワークが良く、さらに団結した合宿になったと感じました。この合宿の経験をいかして県大会でもチームに貢献出来るように努力します。

「最後の合宿」

中学3年 須藤 行雲

今年の合宿は、最後の合宿なので気合いを入れて行こうと思いました。今回がんばろうと思ったのは、大きく分けて3つあります。まず1つ目は、最後まで絶対にあきらめないことです。あきらめたらそこで終わってしまうのであきらめないことはとても大事なことです。2つ目は、大きな声を出すことです。3つ目は、練習を一生懸命やることです。

1日目は、最後に外周があったので結構きつかったです。しかし、最後まであきらめないでプレーをすることができました。

2日目は、高崎と練習試合をしました。たかさきには去年負けているので絶対勝ちたいと思いました。結果は、DAGSの勝ちでした。

3日目は、世田谷と試合をしました。前半は、点をとっていましたが、後半になるとたくさんとられ負けてしまいました。

4日目のシルクス戦は、DAGSが勝ちました。

今回の合宿は、ちゃんと成長したと思います。世田谷戦では負けてしまいましたが、大きな成果があったんじゃないかと自分では思います。今回の合宿を生かして秋の試合に勝っていきたいです。

『菅平合宿』

中学2年 嘉数泰盛

今年の合宿では、いつも以上に疲れました。疲れたのは、自分なりに集中し練習に取り組めたからです。

練習では、足の踏み方や身体の向きかたなど細かい動きを教えてもらい、そのお陰で試合中反則をあまり取られないようになったり動きやすくなりました。

スローインの練習は、パスを出す相手に良いタイミングで出せる練習をしましたが、実際に試合ではやりませんでした。高崎戦では、倒れ込みが多く思った以上に力が出せなかったけど、結果は勝利で終わることが出来ました。世田谷戦は、いつも以上に気合いが入り、前半フォワード一人倒しました。目黒／東京高校合同ラグビー祭の時は勝利していたので、世田谷RSもリベンジで気合いが入っていたと思った。自分なりに声を出し盛り上げていたつもりだけど、結果がついてこなかったのが悔しかったです！最終日のシルクス戦、圧勝で終わり嬉しかった！DAGSの強さを残せたので、これから始まる県大会優勝できるよう頑張りたいです。

「初めての DAGS 合宿」

DAGS1年 小山田 弦

7月27日白山神社から合宿に向かう一台の車がいた。その中の少年たちは、彼ら1人1人に思いがあって白山神社にいるのだろう。

ぼくの思いは「少しでも強くなりたい」それだけだった。

午後に合宿が始まって初めての練習をした。最初の練習の内容は、ウォーミングアップ次に走りこみ、4対4、4対2、タッチフットその次はハンドリングスキルの練習だった。ぼくは特にパスが苦手でハンドリングをにゆうねんに練習しようとした。だけどハンドリングよりストロングポジションができずにボールを落としてしまうこともたびたびあったからちゃんとやろうと思った。タックルスキルメニュー首強化、サイドタックルドリルとつづけ首に筋肉がついてきたと思えるようになった。

ぼくは背が低いからサイドタックルを上手くできるようになりたかったけれど、合宿ではまだサイドタックルをしたことがなかったから強くなったかどうかわからなかった。

二日目は昨日の練習+ディフェンススキルを練習した。試合の後にピラーディフェンスを練習して次の試合で勝とうと思いました。

なぜなら二日目の高崎戦では負けてしまい三日目の世田谷との戦いで勝つ、そして三日目の日同じ練習をしてまた負けてしまった。でもコーチは内容としてはいいと言ってくれたのでその状態で次の最後の試合にいどみ勝とうと思いました。

そして最終日にやっと試合で勝てました。でもコーチに試合での内容はだめだと言われましたが、自分の目標のストロングポジションにちかづけたと思えた。でも顔が上がってからがストロングポジションで、かまへは出来てるから、後は顔を上げればいいと言われて次からは顔を上げてセットしようと思いました。

PS 精神的に一番つらかったのは食事でした。好ききらいが多いのに全ての料理を食べさせられたからでした。

毎食、最後の最後まで、お残り目立ちました。来年はビリにならないよう、「偏食を少なくしないと」と思うけどムリでしょう。(母)

『初めての DAGS 合宿』

中学1年 野川 亮

僕は、この夏合宿に参加するかどうか、とても迷いました。練習にもほとんど行けず、みんなのプレーについていけないのか不安でした。正直、少し怖かったし…では、なぜ参加をきめたか?それは、不安も恐怖心もある、それでも、ラグビーをやりたいと思ったからです。試合では、タックルをはずされたり、タックルをされて倒れてしまったり、みんなの足を引っ張ってしまい、とても残念でした。でも、この4日間のDAGSの合宿はとても楽しかったです。コーチの皆さんありがとうございました。今後も、出来る限り練習に参加したいと思いますので、宜しくお願いします。

夏合宿

中学1年 室井 虹翔

僕は、DAGSに入って初めての合宿でした。初めてなので、少し不安そして少し期待しながら、この合宿に望みました。

今年の合宿で、僕が思ったことは、技術練習が多かった事です。

技術練習では、フォワードは、ラインアウトの時のサインとピラーディフェンス、組織ディフェンスなどの練習をしました。

試合も、高崎と世田谷とシルクスとやり、高崎との試合は、負けてしまったけどコーチには内容は、よかったと言ってもらえました。

試合をやって思った事は、1試合、1試合自分の実力も分かったし、学ぶ事もたくさんありました。

他にも、合宿で新しい練習メニューも増え、普段の練習では出来ない事をたくさん教えてもらいました。これからの練習や来年の合宿も、頑張りたいです。

「初めての中学夏合宿」

中学1年 梅津 誉

僕が合宿に行って思ったことは、小学生の頃より練習内容が難しいと感じました。もう一つは、中学2年の試合に出してもらって相手にタックルをしましたが、上手く決まらず強いと思いました。タックルが決まらない理由としては、体の大きさに圧倒されてしまったことや、前に出てきちんと密着することができなかつたです。そのため、これからの練習や試合では、自分より体の大きい相手でも圧倒されずに前に出て、きちんと密着して良いタックルができるように努力していきます。これからは練習、試合とも今よりも積極的にプレーします。

合宿で学んだ事

中学1年 西野 稜祐

僕は合宿に行ってタックルのコツをつかみました。そして小学生の頃の自分のタックルが少し間違っている事が分かりました。正しいタックルを教えてもらい毎日練習した事で、タックルが少し上手になりました。

試合ではどうしても相手と並行して走ってしまい、サイドタックルが上手く出来ない時がありました。しかし、世田谷との試合ではいいタックルができ、練習したサインプレーも上手いき、負けてしまったけれど、三試合の中でもかなりいい試合が出来たと思います。

僕は合宿に行って習ってきた事を日頃の部活で応用し、自分の理想のプレイが出来るようになりたい。だから、これからも上手くなれるように練習を頑張ろうと思います。

合宿を終えて

中学部1年 大森 鐵乃祐

僕が DAGS ラグビースクールでの合宿で立てた目標は四つある。

一つ目、声を出す。

二つ目、コーチに言われたことを理解し、実践する。

三つ目、練習でやったことを試合に活かす。

四つ目、あきらめない。

一つ目の「声を出す」という基本の目標は、しっかり頑張れた。

二つ目の「コーチに言われたことを理解し、実践する」は理解できても実践することが難しかった。

三つ目の「練習でやったことを試合に活かす」という目標は、完璧ではなかったが、練習内容のほとんどを試合に活かした。

四つ目の「あきらめない」という目標は練習でも試合でも、ずっとその気持ちを持ち続けることが出来た。

僕は、この合宿でやったことを、これからの練習や試合に活かしていきたいと思う。

“最後の合宿”

行雲ズグランマ(小保方喜枝)

今年の菅平はわりあい涼しく、子供たちも大きな怪我もなく無事、夏合宿が終わり良かったです。行雲も私も今年が最後の参加。最後まで母親に行ってもらいたかったのですが、あいにく用事があるのとことで私がまたイソイソと全行程参加させていただきました。

期間中何度も水道とテントを往復した水汲みやポカリの補給も傍目には大変そうに見えたかも知れませんが、気力は30代？後姿は60代？でも苦にならず、練習に燃える子供たちとそれをしごくコーチ陣を見て、逆に活気をいただいて20才くらいは若返ってこちらに戻ってきたような気がします。

合宿参加のコーチの皆さま、ご父兄の皆さまそして何よりスクール生の皆さんお疲れさまでした。そして素敵な日々を有難うございました。この合宿での経験を無駄にせず、秋の県大会では学んだことを遺憾なく発揮し、各学年ますます強いチームになるよう応援しています。

『初めての DAGS 合宿』

中学 1 年 野川 亮母

今年は親子共に、初めて DAGS の合宿に参加させて頂きました。小学部の合宿とは違い、母達に頼る事なく、ほとんどをコーチと子供達でやっているとう印象を受け、驚きました。子供達も中学生になり、人数も少ないせいか結束力があり、見ていて気持ちいい雰囲気です。1 年生の試合はどうなる事かと心配しましたが、試合を重ねるごとに 12 人制に対応したいい試合が出来てると思いました。また、2,3 年生の試合を観戦出来た事も大きな収穫でした。

部活との兼ね合いもあり、練習参加も難しい状況ですが、出来る限り参加し、ラグビーを続けて欲しいという思いを、より一層強くした合宿となりました。コーチの皆さん、ありがとうございました。これからも、宜しくお願いします。

6年生



山本彩夏さん 山本凌介母 小作航平母 亀田幹太母 岸川コーチ 中西コーチ 松岡コーチ 風間コーチ 大森コーチ
山中大治君 加賀コーチ 三浦校長 亀田幹太 佐々木晃平 白川幹斗 佐々木陽平 山本凌介 安井コーチ 大坪コーチ
エラガデヴィッド 越野良我 小作航平 山中康大 梅津暁 藤原卓也 三沢コーチ

2011年6年生チーフコーチの夏合宿

6年チーフコーチ 加賀 司

6年生 夏合宿お疲れ様でした。

今回は好天に恵まれ、グランドコンディションも最高の状態で17日の午後4時には平塚から水泳の試合後に暁も合流して久しぶりに11人全員がそろって天然芝で充実した練習ができました。

コーチは三浦、加賀、三沢、中西、松岡、大森、大坪、安井、風間コーチに加え、仙台から岸川コーチも参加し、木下コーチは仕事の合間を縫って16日のみ参加できました。

子供たちは夏合宿での目標を立て、子供たちなりに一生懸命がんばったと思います。拍手夏合宿でできたこと、できなかったこと、また夏合宿の感想など色々あると思います。

コーチも子供たちがリトルラグーマンにどんなことを書いてくれるか楽しみにしています。

練習はサーキットからラック、タックル、コンビネーション、ショットガン、ランパス、ADと三沢コーチが主体に三浦・大森・大坪コーチや中学の小坂コーチが練習ポイントを丁寧に説明して行い、とりわけ小坂コーチの説明については子供たちから「よく判った」と好評でした。

小坂コーチ、これで中学ではみんなDAGSIに入ってくれるような感触でしたね。

練習も後半のADでは6年コーチだけでは体力的に無理があり、練習の終わった3年コーチから清水親子、猪腰、矢部、元トップリーガーの米元コーチや山本・亀田父も合流して頂きました。ご協力頂いたコーチ、ありがとうございました。

16日のミーティングでは子供たちに今日でできたこと、できなかったことを発表し、できなかったことについてはどうしたらよいかアドバイスをしました。三浦校長は、子供たちのハートにまだ火を点けられなか

ったと言っていました。三沢コーチも気の抜けた最後のランパスに駄目出しがありました。子供たちに種火は確実に点いたと思います。

これから秋の県大会に向け、その火を根気強く見守り、大きく育てて行きたいと思います。

☆菅平賞はコーチで話しあった結果、みんながんばったけど以下の理由から良我君を選びました。

夏合宿初参加でしたが、ディフェンスではタックルやスイープができるようになり、アタックでは走力も付いて、良くフォローし、パスを受けたら相手を良く見て空いているスペースへ走り込み、タックルされてもノックンしないで確実にダンボールできるようになり、合宿前と比べるとどこかひ弱さのあるプレーから1皮も2皮も剥けて少し逞しくなったと思います。

結果として今回の合宿中の試合でのトライ数だけカウントしたら 良我5、凌介4、晃平3でした。他にもデビは合宿の初日からどこか人が変わったように積極的に練習に励み、みんなを励ますような声掛けも出来ており、途中の休憩がなければ？。また凌介も今回の合宿の目標を菅平賞と決め、一生懸命にがんばっていたけど練習後の宿までのランニングもがんばれば？。卓也もハーフとして常にボールのある所に走り、確実にパスアウトし声も大分大きくなりグランドサイドでも聞こえるようになったぞ。練習でコブだらけになっても試合やその日の練習が終わるまで我慢した航平、キャプテンとしてみんなを引っ張った康大、そして晃平、陽平も幹太、幹斗も眺みみんな弱音を吐くこともなくよく頑張った。

◎そしてだれもテントでのお世話になることもなく、宿舎では班長として下級生の面倒をしっかりと見て宿からのクレームもなく、集合時間も早く集合するなど最上級生として自分たちの役割をしっかりと把握し実行できた事は試合や練習以外にもがんばったと思います。

コーチを代表して「おめでとう、よく夏合宿がんばりました。」と褒めたいです。

尚、17日の練習後、航平が頭にこぶができて痛いとのことで、須坂の病院で診療した結果CTスキャンも撮り、頭の皮下腫と言うことで冷やして安静にしていれば問題ないとのことでした。

以下は今回での試合に関する内容です。

1. 17日のラグビーマガジンCUPミニジャンボリーでの試合結果は以下の通りです。

第1試合 麻生対布施(6年) 0:30で負け

メンバー:FW 航平・幹斗・デビ、SH 卓也、SO 陽平、CTB 康大、WTB 晃平、良我、FB 凌介

後半デビから幹太に交代、レフリー布施RS

第2試合 麻生対布施(5年)55: 5で勝ち

メンバー:FW 航平・幹斗・デビ、SH 卓也、SO 陽平、CTB 康大、WTB 晃平、良我、FB 凌介

後半デビから幹太に交代、レフリー大坪コーチ

2. 18日の5・6年生対抗戦の結果は以下の通りです。

麻生6年生対麻生5年生 30: 5で勝ち

メンバー:FW 幹太・幹斗・デビ、SH 卓也、SO 陽平、CTB 康大、WTB 晃平、良我、FB 凌介

後半幹斗から眺に交代、レフリー大森コーチ

3. 18日6年生対6年生父母。コーチ戦の結果は以下の通りです。

麻生6年生対麻生6年生父母・コーチ 5:10で負け

メンバー6年生:FW 幹太・幹斗・デビ、SH 卓也、SO 陽平、CTB 康大、WTB 晃平、良我、眺、FB 凌介

父母コーチ:FW 小作・中西・三沢、SH 亀田、SO 加賀、CTB 山中、WTB 小作母、安井、FB 山本

後半？コーチから？？コーチへ交代 レフリー佐藤コーチ

最後に赤池コーチ お酒の差し入れありがとうございました。

小作母、昨年同様フル参加で合宿をサポートして頂きありがとうございました。

また子供たちとの試合では最後に決勝トライを決めてカッコ良かったですね。母は強し。

山中母、山本母、佐々木母、エラガ母、亀田母、白川父母、梅津母 応援ありがとうございました。

「夏合宿」

6年コーチ 三沢 洋

ついに迎えた6年生の夏合宿！

天気にも恵まれ、絶好のグランドコンディション！

天然芝の心地よいピッチで思いっきりラグビーが出来た！

子供達はみんな目標を書いてきた！
合宿の中で目標を意識しながら練習できたかな？
合宿から帰ってきて何をやったか振り返ったかな？
痛い事や、きつい事、ちょっとさぼりたくなった事
色々あった中で「俺はやったぞ！」と言える事があれば OK！
「目標を達成したぞ！」と言えれば最高！

春から全員そろって練習することもままならなかったけど
2日目の午後から11人全員が揃い、5年生とのゲームやランパスが出来た！
全員が揃って最後の合宿を締めくくって本当によかった！

これから県大会や、ファイナルカップを迎える
このメンバーでラグビーが出来る最後のシーズンだ！
燃えよう！必ず全力を出し切ろう！
麻生RSの6年生として！

6年生の合宿

6年コーチ 木下 義之

合宿初日、朝練習が終わって、麻生朝食を食べている時に、自分の予定よりやや遅れて山光館のグラウンドに到着、良く晴れて、湿度も低く素晴らしい天候で迎えられ、6年生10人と元気に「おはよう」と挨拶を交わし午前中の練習を開始。

子供達は、苦しく、辛い事は分かっている。しかし、一人一人が自分自身に、また仲間に、声を掛け合い励まし昨年までのように、頭痛や腹痛を訴えテントに行く者も無く、午前中の練習が終わって宿までの移動も充実感が伝わってきた。

午後からは、チーム全体の練習を中心に行い、個人個人の役割を確認しまとまりある成果が得られた。私はこの1日だけ練習する事が出来なかったが、子供達は合宿中の自分の目標に十分近付くことが出来た。夏休み明けももっとも君達には出来る事がある。しっかりと準備して、必ず全勝優勝しよう。

小学校最後の夏合宿

6年コーチ 岸川 泉

仙台へ単身赴任し3回目の夏合宿参加であり、子供たちと会うのは昨年11月の県大会打ち上げ以来でした。昨年の県大会での成長がすばらしく、その後の成長を期待していましたが、最初は6年生の迫力を感じませんでした。しかし、練習を重ね、試合で悔しい思いを重ねるにつれ、チームワークもよくなり6年生らしくなってきました。特に、菅平賞を受賞した良我が強くしぶとくなったのは(化けた)、感動したし、他の子供たちももうすこしで菅平賞のメンバーでした。

個々のスキルをあげるのはもちろんのこと、団体競技としてのチームワークとモチベーションを向上させ、受験等でメンバーが集まらないハンディを何とか乗り越え、最後の県大会での有終の美をかざることを、仙台の地で祈っています。(優勝し歴代のコーチを泣かせてくれ)

夏合宿を終えて

6年コーチ 大坪 功

今年は天候にも恵まれ、内容のある合宿となりました。普段出来ないフォーメーションの反復練習が出来て、今年の戦い方が構築出来たと思います。この合宿でたくましくチェンジした子供達にも本当に感動です。これからも、出来るだけ個々の潜在能力を引き出せるよう努め、また、そういった場に遭遇出来れば幸いです。

さあ！いよいよ小学部最後の県大会が始まります！

合宿中、みんなで確認しあったフォーメーションを本番で確実に発揮するだけです。でも、日にちが経つと、すぐに忘れてしまいがちです。どうすればいいのか？普段のイメージトレーニングが重要です。普段の生活

の中でどれだけラグビーの事を考えているかで勝敗が分かれると思います。みんなが真剣にどれだけ勝ちたいと考えているかです。

それでは、県大会優勝に向け、週一回の貴重な練習を有意義なものにする為、これからも三位一体頑張らしましょう！！

菅平合宿

六年コーチ 松岡智

6年生諸君、小学部で最後の菅平合宿はどうでしたか？また今年も泣かされた子も泣かなかった子も、私学受験する子もしない子も、来年もまた菅平に来る子も来年は来ないかも知れない子も、11名全員が、ねこだけ(菅平で二番目に高い山)に住まうといわれる山の神様から大きな見えない力を授かったことを忘れないで下さい。だから…ラグビーも受験も必ず両立できる！ミニ合宿で今一度覚醒し、互いを奮い立たせ最後まで仲間を信じることのできる強い志を持ったチームとなって、県大会の優勝を勝ち取りましょう。

最後の夏合宿

6年 山中 康大

僕は夏合宿に2つの目標を持って行った。ひとつは今年新しくポジションについてセンターの役割をはたすこと。そしてもうひとつは、いつも全員が集まって練習することが少ないので集中的に練習することでチームとしてさらに強くなることでした。

センターのポジションではアタックの時にスタンドオフとのタイミングが大切だということがあらためてわかったのも、もっと練習してタイミングを合わせたい。チームとしては全員がそろって練習できたことで以前より声が出るようになったし、ボールをつなぐ意識も高まったと思う。

とうとう最後の合宿も終わり、県大会が近づいてきた。目標の優勝を達成するために残された時間でもっともって皆で強いチームになりたいです。

最後の夏合宿

6年 小作 航平

今年の合宿の目標は、相手のももに顔をつけるイメージで当たるということと、6年生として班の低学年の3年生、4年生をまとめるということでした。

まとめるのは班長と一緒にうまくできたと思うけど、3年生より4年生5年生の方が意外とうるさくて、3年生はえらいなあと思いました。

練習では、2対1の練習で、自分のアタックのときに相手の二人に正面からぶつかって、その二人を引きずりながらトライするというのを何回かできました。

布施との2試合目では、相手をたくさんまき込んで前に出て、バックスがトライしやすくなったのでとても満足できました。なので、これからの試合も楽しくやりたいと思いました。

自分の目標だった、顔を相手のももにつけるのも、試合でうまく当たって相手を引きずることができたし、コーチとの練習でもできるだけ前に進むことができたので、最後の合宿で自分の目標をけっこうクリアできたことは良かったです。

最後の日は、前日に頭が皮下出血してしまって、恒例のランパスしかできなくて、5年生との試合やコーチ・父母との試合に出られなくて残念でした。最後の合宿だったので、できれば最後まで全部やりたかったなあと思いました。

これからの試合は、県大会もファイナルカップも、たとえ負けていてもあきらめないで、最後まで一生懸命やりたいとあらためて思いました。

夏合宿を終えて

6年 山本 凌介

僕の最後の夏合宿の目標は、“絶対に菅平賞を取る”という目標でした。

菅平賞を取るにはみんなより目立って、プレーや声を出してみんなを引っ張っていかないと取れないと思いました。しかし、その目標どおりにはうまくいかず、うまくみんなを盛り上げ、引っ張っていく事が出来

ませんでした。合宿終了後、考えてみるとそれは、僕が出している声は、みんなを引っ張っている声ではなくみんなに緊張感を与えている声だと、自分なりに思いました。例えば相手のラインアウトの時、「航平、デヴィ、ボール取れるよ。取れる。」等と、ボールを必ず取らなくてはいけない！みたいな声を出していたので、今度からはみんなを安心させるような声を出します。

でも、合宿から、そのような事を考えてプレーをすれば、みんなより目立ち、菅平賞を取れたんじゃないかなと思いました。

菅平賞は取れなかったけど合宿で得たことはたくさんあるので県大会に活かしたいです。

最後の夏合宿で本当に良い思い出がたくさん出来ました。

夏合宿

6年 越野 良我

僕は、この夏合宿に参加してよかったと思っています。なぜならこの夏合宿で新しく分かったことが、2つあるからです。

まず一つ目は、ふみこむことです。ふみこまないと相手に体重をかけてしまいかわされるとたおれてしまうし、当たってもタックルが弱くなってしまふことが分かりました。合宿前はあまりそのことを意識せずにやっていた合宿でふみこまなければ絶対いけないということをしりました。

二つ目は、タックルに行く時はビビらずに前を見て当るといことです。今まではどうしてもあたる時にこわがってしまいタックルが弱くなり自分のほうが怖くなっていました。それから前を見てあたらないと肩などがあたってけがをしてしまうことも分かりました。これ以降はこのことに気をつけてそれ以外にも気をつけることがあれば注意してもっと強くなりたいです。

「最後の夏合宿」

6年 梅津 暁

僕が小学校最後の合宿で頑張ったことは、積極的に声を出したこと、相手に強く当たったことです。

合宿に行き分かったことは、何事も全力でやるということです。合宿で出来なかったことは、タックルする相手をしっかりつかんでいるということが出来なかったので、これからの練習はしっかり相手を止められるタックルが出来るように練習して県大会に出たいです。

合宿でできるようになったこと

6年 亀田 幹太

僕は、この合宿が一番きつかったけど、いろんなことができるようになった。

たとえば、FW ペナルティーの時にでかい人をとめられたり、5年生との試合では、キックオフの時に全力で走ってボールをもってトライができました。毎回の練習はつらいけれど、それを身につければトライなどのいいプレーができるという事を改めて思いました。なので、これから県大会に向けてさらに練習がきつくなると思うけれどがんばって身につけていきたいです。

最後の夏合宿

6年 エラガ デヴィッド

去年は初めての合宿だったから 楽しみだったけど、今年は又つらいランパスがあるかと思ったら行くのがすごくイヤになった。でも、去年よりランパスがつかなく感じなかった、もっと 練習を頑張って試合に勝ちたい！！

自分にも負けない様に残り半年ガンバルぞ！

夏合宿！！

6年 白川 幹斗

麻生ラグビースクール最後の夏合宿が終わりました。

合宿で嬉しかったことは、マイボール・ダンボールの姿勢が上手く出来るようになってきたこと、試合で凌介が蹴ったボールをキャッチしてセービング出来た事、重住副校長に班行動で行動が早いと褒められたことです。

合宿で出来なかったことは、タックルの時に頭を上げることができなかったこと、試合の途中で声を出せていない事があったことです。

三浦校長に突っ込みをもっとできるはずだといわれても、なかなか出来なくてアゲインを何回もして、やっと出来た時に「やればできるんだから、やろうよ」と言われて、やればできるんだ！と嬉しくなりました。僕たちの学年は、人数が少ないけれどチームワークを大切に県大会を頑張ります。

夏合宿

6年 佐々木晃平

今回の夏合宿は麻生ラグビースクールでの最後の合宿です。今までの合宿の練習の中でも一番厳しかったです。なんども逃げ出したくなったけど、みんなも一生懸命頑張っているの僕も最後まで頑張れました。コーチの方たちも普段の日大の練習よりも気合が入っており僕たちにも伝わってきました。ジャンボリーの2試合目では練習でやってきたパスをつなぐという成果が出て勝つことができました。県大会では合宿の成果を出して優勝したいです。

夏合宿

6年 佐々木陽平

今回の合宿の一番の印象は「楽しかった」ということです。それは今までやったことのない練習がいっぱいあったからです。それとやはり練習は今までで一番きつかったです。部屋では班長になってみんなをまとめられたと思います。でも朝一番でみんなと女子サッカーのワールドカップを見たことは良い思い出になりました。ジャンボリーの1試合目の試合はなかなか練習の成果が出なかったけど、2試合目では5年生相手だったけど成果を出せたと思います。県大会では昨年勝てなかった横浜RSに勝ちたいし、ファイナルカップでは優勝したいです。

夏合宿をおえて

6年 白川幹斗の父 白川 徹

菅平での夏合宿に最初に参加したころは、ラグビーのルールも分からず、ボールを奪うことしかできませんでした。合宿の回数を重ね練習していく中で少しずつポジションや自分の役割を分かってくるように思います。

特に試合では、相手のラフプレイに反応してしまい、いつもチームメンバーに助けをもらう事が多くありましたが、今回のサニアパークでの試合は、落ち着いてプレイをしている姿をみて幹斗の成長を感じる事ができました。

ここまで成長できたのは、三浦校長をはじめコーチの皆さまとチームメンバーに恵まれたおかげだと感謝しております。

これから、県大会に向けてますます頑張ってもらいたいとおもいます。

小学部の夏合宿を終えて

6年 小作航平の母 小作照美

とうとう小学部最後の夏合宿を迎えました。

兄ちゃんのと時から夏の菅平に通い詰め、(途中休憩もありましたが…)山光館のことは隅から隅まで知っていると自負しています。

最後の山光館は、航平が幼稚園時代に過ごしたシダーハウスに宿泊することになり、懐かしい気持ちでいっぱいでした。

メインの5年生のお母様方は、連日毎晩遅くまで、明日の段取りミーティングに時間を費やし、改めて合宿担当母たちの団結力を見せていただきました。

おかげ様でグラウンドでは何の滞りもなく、6年生の練習に没頭させていただきました。皆さん本当にお疲れ様でした。感謝申し上げます！！

それと、混ぜていただいて、相手していただいてありがとうございました。

今年の菅平はずっといいお天気に恵まれて、グラウンドも最高のコンディションでしたね。

6年生ということで、練習にもかなり気合が入り、三浦校長はじめコーチ方の想いもひしひしと伝わってきました。なかなか人数のそろわない6年生も全員集合できて練習できたことは、最後の菅平のいい思い出になったと思います。

キツイ練習をやり遂げて、6年生のみんなの心にも自信がついたんじゃないかな？ジャンボリーの2試合目はみんな本当にかっこよかったよ！

あの気持ちを、県大会そしてファイナルカップにゼーんぶ出そうね！

6年生が全員揃えば、なにも恐いものはないと思います。みんな、自信をもってこれから戦っていこうね。

そして、やりきった満足感をみんなで味わおうね。

最高の笑顔を見せてくれるのを、今から楽しみにしています。

コーチの皆さま、暑い中、この子達とともに戦っていただいて、本当にありがとうございます。これからの勝負ですね。母達も一緒に戦いますので、引き続きどうぞ宜しくお願いいたします！！

5年生



- (1段目左から)・武井コーチ・安井 健太・萩原 睦・西野 響太・野川 真・斎藤 裕太・佐藤 公亮
・濱田 透唯・横島 拓郎・中司 大也・川原(母)・川原(弟)
- (2段目左から)・宮澤 朋輝・中司(妹)・井上 謙亮・真山 拓也・大竹 竜矢・伊藤 大吉・寺田 大起
・川原 奨平・安藤 慎吾・菅原 健人・大森 公乃祐・大坪 勇太・大坪(母)・大坪(妹)
- (3列目左から)・萩原(母)・中司(母)・西野(母)・伊藤(母)・宮澤(父)・寺田(母)・野川(母)・濱田(母)
・萩原(父)・横島(母)・小作コーチ・山中コーチ・重住コーチ・伊藤(父)・向野コーチ

2011年 がんばれ日本!!!

小作 紀昭

3/11の東北大震災。未だに余震、原発の目に見えない脅威が続いているこの夏。
神奈川県麻生ラグビースクールは、例年通り長野県の菅平高原に向け出発しました。
震災以降、自粛するところ、被災地に向けての支援の気持ちを忘れず、積極的に行動すること。子供達には
変わらず元気を！日本に起こった事実を伝えることが大切だと思います。
身の危険を感じても、時間が過ぎ、支援の気持ちを忘れそうに…なりそうな今ではないでしょうか？
ローカルな場ではありますが、被災された皆様、心からご冥福をお祈り申し上げます。

「2011年 5年生 夏合宿」

5年生チーフコーチ 小作 紀昭

現学年、三度目の菅平。暑さほど程に。雨にも降られず天候に恵まれた合宿でした。

<5年生 合宿の有形の目標>

①地域挽回のキック(あえて“逃げ”とは言いません。)とキックされた時の処理。

②サインプレー

2日半の短期集中で身に付けようと…高い目標の合宿です。

<5年生 無形の目標>

気持ちを出させること。→やり切ることで達成感を感じさせ、自信をつけること。

(これしか思い付きません。)

日曜日のジャンホリー(サニアパーク)は2チームで参加、午前、午後の2試合ずつの計4試合。

麻生A(赤)○25vs10●ドラゴンズ(流経大/茨城)

麻生B(紺)○25vs15●高崎(群馬)

麻生A(赤)○35vs25●京都フログレ(京都)

麻生B(紺)○25vs20●宇都宮(栃木)

強豪相手に対して接戦を制し、全勝したことは自信になったと思います。

(気持ちの入った両キャプテンの顔！トライのガッツポーズ！出し続けたハーフの大声！全員ラグビー！諦めない！逆転勝利！)

学年交流戦。

麻生5年生●5vs30○麻生6年生

“短期の成果”を十二分に発揮したと…手応え感じる試合でした。

① キック

SOのキック力は十分使える目処が立ったこと。

(キック場面の判断と技術向上は練習あるのみ)

キックフォロー(主にFB)もミニ合宿で感覚(セービング、切替す時の見据えるランコース)をつかむこと。

② サインプレー(FW/BK)

ラインアウトでは自分たちで考えたコールを堂々と自分達のペースで進められるようになりました。

BKのサインプレーの、基本は固まりました。

(次は子供達同士の意思疎通で編み出すコーチも知らない技を！…県大会が楽しみです。)

③ FW陣はコーチのプレッシャーに気持ちで負けず、戦っていました！ボールを拾ったら前に出る意識が格段に成長しました。

<5年生 三賞>

赤チームコーチ賞:大起

紺チームコーチ賞:慎吾

菅平賞:齋裕太 が受賞。

齋裕太:私にどんなに度付かれても、怒鳴られても、涙流しながら向かって来ました。

試合では赤のSHとして見事に結果(自信を掴んだ)を出したと思います。

ひたむきに菅平の2日半の時間を自然体で頑張った結果だと思います。

大起:赤のPRとして一人立ちする時。いよいよ来たよこの合宿で感じています。

(嘘か本当か裏話?赤チーム/向野コーチは「あの大起があ〜!」と涙流して心から喜んでました!5年生の泣き虫コーチは小作だけではありません。)

慎吾:紺のオールラウンドプレイヤーとして2年半のブランクを超え、主力選手に戻りました。

慎吾らしく、決して遠慮しないで、チームを引っばる選手になる人だと思います。

両キャプテンもこれ以上ない、存在感がありました。有難う。

最後に5年生合宿係りのご父兄の皆様、大変お疲れさまでした。選手、コーチが存分に動ける環境が整わなければ良い合宿は成し得ません。皆さんのネットワークの良さと子供達全員の母として頑張り。心から感謝しています。有難うございました。

日大グラウンドで5年生コーチ皆が言い続けている“全部出せ!やり切れ!”。

菅平のグラウンドの練習のどこかで「コーチがやり切れてこういうことかな?」と…感じてくれたように思います。(伝えられたように思います。)

「着実な成長！」

5年コーチ 山中 淳郎

今年の夏合宿も20名全員が参加して大いに成果の残る素晴らしいものになりました。私は個人的な事情で日曜日の朝からの参加になったのですが、前日の夜に小作チーフから土曜日の練習の状況を教えていただき、大いに意気上がっていることがヒシヒシと伝わってきました。菅平に向かう車の中でも5年生の皆が真っ黒に日焼けした精悍な顔つきでグラウンドにいるのを楽しみにイメージしていました。

日曜日は朝からサニアパークで対外試合だったのですが、前日の練習で相当追い込んだ割には皆元気で、昨年の合宿でテント組が何人も出ていたのに比べて頼もしくなったなと感じました。対外試合は4試合とも他県の強豪でしたが、赤紺とともに現在持てる力をチームとして出し切ることで全勝という素晴らしい結果を上げることができました。リードされても全く動揺しないで自分達のプレー(タックル、スィープ)をひたむきに行い、最後は逆転するというこれまでに無い成長した試合運びも見せてくれました。(すごいで！！)

アタックでは今年初めから取り組んできた形と夏合宿前から入れたサインプレーを織り交ぜてさらに一段レベルアップしたと思います。一方、ディフェンスはフェーズを重ねることに団子になってしまうBKラインが課題として残りましたが、これも他のプレーがレベルアップしたから取り組むレベルであると前向きに捉えて合宿後から練習していきたいと思います。菅平賞に輝いたさいゆうた、チーム賞のたいき、しんごをはじめとして全員が頑張って着実な成長をした合宿だったと思います。

それと5年ご父兄の皆様は合宿係の大役を見事に果たされて本当にお疲れ様でした。何もお手伝いができませんでした、皆様の奮闘で今年も無事に合宿が行えたことに感謝申し上げます。本当にお疲れ様でした。

気がつけば、もう5年生の夏合宿が終わってしまいました。先を見てもいけませんが、合宿は来年を残すのみで、県大会もあと2回です。1回1回の練習を大切に5年生の子供達と成長していき、喜びを分かち合いたいと思います。

「菅平合宿を終えて」

5年生コーチ 向野 禎明

まずは5年生のみなさん、合宿お疲れ様でした。現5年生とは2回目の合宿参加となりましたが、昨年とは合宿に対する意識が違っていたなと感じられ、先ずはその成長がうれしく思いました。

今年の合宿は「持てる力をすべて出し限界にチャレンジする」ということをかけ、それを5年生に実践してもらおうと意気込んでやってきました。

いつもより長い時間走るダッシュ、タックルバックへのタックル、当たり等々涙ながらに懸命に続ける姿を見て本当に心を動かされました。子供たちも強い気持ちを持ちこころまではやれるんだ！ということを感じられたのではないかと思います。

特に成長が感じられたのは、2日目の試合です。結果的に5年生は全勝しましたが、今までであれば、ズルズルとトライを奪われ続け負けていたような試合を逆転、もしくは接戦で勝利できたことは、その気持ちの表れではなかったかと思います。

暑い夏は、あっという間に過ぎ9月からは県大会が始まります。この気持ちを持続させて秋は皆笑顔でよい報告が出来るようにがんばっていきましょう。

最後になりましたが、合宿を裏方で支え続けた5年生を中心としたお母さん方、応援に来られた御家族の皆様、コーチの方々本当にお疲れ様でした。

「成長し続ける子供達」

5年生コーチ 武井 智之

今年の菅平は、すっかり梅雨も明け素晴らしいグラウンドコンディションの中で練習することができました。コーチ達の指導熱も自然に高まり「たくましくなしてほしい」「昨日の自分を超えてほしい」を目標にチャーム熱血指導が始まりました。

子供達も、強い陽射しで本当に暑かったけど、体調不良で休む子もほとんどなく、悔し涙を噛みしめなが

らも良く頑張ってくれました。

合宿に参加した全員が頑張った結果が、ジャンボリーと6年生との試合の結果に表れました。成長していく子供達を見ることで感動させてもらい涙腺が緩みっぱなしです。ありがとう。よくやったね。

「たくさん伸びたぞ！！」

5年生コーチ 宇田 洸希

5年生のみなさん、4日間の夏合宿本当にお疲れさまでした。

行きのバスの中では相変わらず元気すぎる5年生でしたが、菅平に着くと5年生のお兄さんらしくなり、山光館では6年生をフォローする姿が何度も見られました。

ラグビーの技術はもちろんのこと、心身ともに成長したとを感じるような夏合宿でした。本当は私が発見した一人ひとりの成長を書きたいのですが・・・字数が足りないので今回はやめておきます。

夏合宿が終わり、すぐに県大会です。小学部の県大会はあと残すところ2回です。最高のプレーができるようにがんばるぞ～！おぉ～！

「初めての合宿」

5年生 安藤 慎吾

ぼくは、今回が初めての合宿でした。

今回の合宿の目標は、全体的にタックルを強くすることと、チームプレーをしっかりとすることでした。タックルを強くするという点では、少しだけ強いタックルができたと思いましたが、低くタックルするのをできていなかったり、止まった状態でタックルしてしまったりなど、反省する点がたくさんあると思いました。チームプレーをしっかりとするという点では、自分勝手なプレーが多かったし、何をすればいいのかわからず迷ってしまうことがたくさんありました。ぼくは、いつどこにいればいいのかを考えずにプレーすることが多かったの、これからは考えてプレーすることを身につけたいと思います。

ぼくは今回の合宿でコーチ賞をもらいました。すごくうれしかったです。賞をもらって満足しないで、合宿でできなかったこと、反省するところをしっかりとできるように、合宿で少しできたところをさらにうまくできるように、うで立て伏せなどの練習を積み重ねて、もっとラグビーがうまくなるようにがんばりたいです。

「ラグビーの力」

5年生 伊藤 大吉

ぼくは、今年の夏合宿に参加できてよかったです。合宿前にたてた目標も達成できました。3月の東日本大震災でラグビーができない人が、いるということを知ってラグビーの力で日本を元気にしたいと思いました。「見せましょうラグビーの力を！」

「今年の夏合宿」

5年生 井上 謙亮

今年の目標は低くて速いオーバーだった。低いオーバーはできたけれど、速いオーバーがあまりできなかった。だからふだんの練習で目標に近づけるようにがんばりたいです。夏合宿で一番印象に残っているのは、ラインアウトで上投げができるようになったことです。だいやのお兄ちゃんと何度も何度も投げやっとなできるようにした時はとてもうれしかったです。その時あらためて思いました。

「やっぱラグビーは楽しいな！よし！もっともっとうまくなるぞ」。その気持ちをもったまま、来年最後の夏合宿もがんばります。

「初めての合宿」

5年生 大竹 竜矢

ぼくは初めての合宿でした。

コーチ達は、いつもと全然違ってとても厳しかったです。練習は、きつくて大変だったけど楽しかったです。試合は、2回とも勝てたので、とてもうれしかったです。

それから、タックルのコツをつかむ事ができて前よりもうまくなれました。ぼくはもっとタックルがうまくなりたいと思っていたので、とてもうれしかったです。

ぼくはフォワードだからもっと強いタックルができるようにこれからも頑張って練習したいと思います。

「夏合宿の感想」

5年生 大坪 勇太

僕は、この合宿で目標だった『大きな声でプレーする！』を達成できたと思います。

今までの自分は「パス！！」などと言う声出しが出来なかったから、ボールをあまり貰えなかったけど、ジャンボリーでは、「パス！！」や「ライン出来てるよ！！」などと言う声が出ました。だからボールを貰ってトライする事が出来ました。

これはやっぱり辛い練習があったからこそ目標を達成できたんだなと思います。

これからも大きな声でプレーしたいと思います。

「夏合宿」

5年生 大森 公乃祐

今年の合宿の目標は、まっすぐ走ることとサインプレーを上手くできるようにすることでした。練習中は意識してまっすぐ走ることができました。サインプレーはうまくなってよかったです。日大グラウンドでの練習でもうまくやりたいです。

ジャンボリーでの試合は、練習で意識していた、まっすぐ走ること、がうまく流れないで走れました。サインプレーもやってみました。練習の時と同じようにサインプレーができました。相手はとても強かったです。

最終日のランパスは、練習の中で一番つらかったです。けれど、最後までやりぬいて、合宿最後の練習も終わりました。初日の練習の最初にやったサーキットもとてもつらかったです。

今年の合宿はとても良い合宿だったと思います。

「合宿が終わって」

5年生 川原 奨平

今年のラグビーの合宿は、ラインアウトで相手に取られないようにするという目標と、サインをちゃんとできるようにという目標で取り組んだ。

ラインアウトで相手に取られないようにするのはあまりできなかったけど、サインの方はうまいから良かった。これからも相手に取られないようにすることを目標にしたい。

僕は2年生から合宿に参加しているけれど、今年初めて合宿中に体調を崩した。行きのバスの中で右耳が痛くなって、とてもつらかった。次の日も試合中も痛かったけど最後までがんばった。合宿中に体調を崩すと辛いから来年は気をつけたい。

来年は6年生で合宿も最後になってしまうから、合宿はきつくて辛いけどみんなとがんばっていいチームになりたいと思う。

「今年の合宿」

5年生 齋藤 裕太

僕は合宿前はハーフに自信がありませんでした。

合宿に行って、小作コーチ、向野コーチ、渡部コーチ、宇田コーチにハーフの役割や、大切さを教えてもらいました。練習はきつくて泣いてばかりだったけど、ハーフを続けたかったし、上手になりましたからがんばりました。

日曜日の試合では、コーチや赤チームのみんなとの練習のおかげで、みんなで頑張って勝ちました。すごく嬉しかったです。

最後の日に「菅平賞」をもらえたときは今までで一番嬉しかったです。

これからももっと、上手になりたいです。がんばります。

「夏合宿を終えて」

5年生 佐藤 公亮

ぼくは今年目標として「オーバーをするときにラインをこえる」ことをがんばりたいと思いました。実際に合宿で戦ったチームはオーバーが強かったので、100%達成はできませんでしたが、自分としては80%くらいかなと思っています。

タックルは試合でたくさんできたと思っています。思いつき相手にぶつかっていくことができ、合宿でがんばったせいかなと思いました。

今回の合宿でうれしかったことは、試合で全勝したことです。夏合宿で全勝したのははじめてのことだと思います。コーチといっしょにがんばったみんなの結果です。

合宿の最終日のランパスは目に汗が入りづらい練習でしたが、最後だと思いがんばりました。

コーチありがとうございました。これからも県大会にむけてがんばりますので、よろしくお願いします。

「できるようになったサインプレイ」

5年生 菅原 健人

ぼくは、この試合でいろんなことを練習しました。中でも、特にできなかったのは、セービングです。うまく当たれる体勢になれないので、そこはいつもの練習でがんばりたいです。

逆にできた事は、サインです。いつもの練習のときは、なかなかうまくできなかったけれど、合宿に来てから、やっていくうちにだいぶミスなくできたので良かったです。

試合のときは、いつもの練習試合よりも、全体的によくできたと思いました。いつもは負けっぱなしだったけれど、二試合とも勝ててよかったです。それにトライができたのでうれしかったです。

二試合とも、勝ったような動きを、次の試合に生かしたいです。

「夏合宿の感想」

5年生 寺田大起

今年の合宿での目標は「相手チームより速くオーバーに入って、仲間にボールをつなぐ」でした。それを意識して合宿にいどみました。

その目標が、特にジャンボリーでの京都戦とドラゴンズ戦で全部出しきれた気がします。もっと練習すれば、もっと強くなれると思うので、日々の練習も全力で頑張りたいです。

ぼくは、この合宿で色々変わった気がします。はげしいプレイができた気がするし、前より大きな声をだせた気がします。

来年の合宿では、もっと大きな声をだして、もっとはげしく頑張りたいです。

「夏合宿」

5年生 中司大也

ぼくの夏合宿の目標は、はげしいプレーと低いタックルだった。

初日は、その目標を意識しながら練習した。去年より何倍もみんな気合いが入っていた。僕も負けにくいくらいがんばった。

次の日にサニアパークで試合をした。その試合で目標だったはげしいプレーと、低いタックルがたくさんできた。そして勝つことができた。試合の後「やったぞ！！」と思った。

最終日、6年生と試合をした赤チームは一本もとれずに負けてしまった。悔しくて泣いてしまった・・・

気合いを入れなおして最後のランパスをした。本気で走りパスをした。くいのないランパスになった菅平賞は取れなくてよかったけれど、同じ赤チームのさいとうゆうたが賞えたのでうれしかった。

この合宿でコーチから学んだことを生かして県大会優勝をねらいたい！

「がんばった夏合宿」

5年生 西野 響太

夏合宿の練習で、ぼくはがんばった練習を三つ書きます。

一つ目は、タックル練習です。なぜかと言うと、いつも腰から上で低くタックルができていなかったからです。夏合宿では、あまり低くタックルは出来ませんでした。

二つ目は、アタック→ダウンボール→オーバーの練習です。アタックをしても相手に止められたり、ダウンボールをしても相手にボールを取られたり、オーバーで負けていたりしていたからです。夏合宿では、オーバーで負けていたので、あまり出来ていませんでした。

三つ目は、ランパスです。ぼくは声が出ていなくて、パスが下手だからです。夏合宿では、試合の時にあまり声が出ていませんでした。

出来ていなかった事を、秋の県大会までに出来るようにがんばります。

「夏合宿を終えて」

5年生 野川 真

今年の夏合宿で出来た事は、目標にしていた、速くボールを出すことと、声をかけてチームを引っ張ることです。特に三日目の試合では、速くボールを出し、バックスにつなげる事が出来ました。また、声を出して盛り上げる事が出来たのだ、嬉しかったです。

これからの課題は倒すタックルです。今までは、タックルをしても倒す事が出来ず、パスをつなげられてしまったからです。夏合宿で練習したことを生かし、倒すタックルを今後の練習で身に付け、県大会に挑みたいと思います。

コーチの皆さん、これからも、宜しくお願いします。

「ラグビーの合宿」

5年生 萩原 睦

今年のぼくの目標は、ねらうタックル、たおれないタックル、センターのフォローです。そしてできたことは、センターのフォローとねらうタックルです。センターのフォローは、ついていったらセンターがタックルされてもすぐにオーバーができました。ねらうタックルは、6年生とのし合でしっかりタックルができました。

できなかったのは、たおれないタックルです。6年生とのし合で、パックをしたのにたおれてぬかれてしまいました。

今年6年生のし合を見てつらそうでした。来年はぼくたちのばんなので、かくごのうで来年の合宿にのぞみたいです。

「ガツンとタックル！！」

5年生 濱田 透唯

ぼくは夏合宿へ行く前、真直ぐにきちんとタックルに入ることができなくて目の前の相手をすぐ逃がしてしまいました。だけど今年の夏合宿でやった練習のおかげで、真直ぐで強いタックルができるようになりました。これからはもっと真直ぐで強く強いタックルをしたいです。

「ラグビーの合宿」

5年生 真山巧也

ラグビーの試合で相手の押し合いでボールが味方に回って味方がトライして勝てたことが印象に残りました。理由は、僕が味方の役に立ったと思ったからです。あと、合宿の行きにスクールウォーズをみてドキドキしました。不良学生がラグビーの選手になれたからです。

「合宿でできたこと できなかったこと」

5年生 宮澤 朋輝

できたことはタックルと声だしです。

できなかったことは「ライン引け」の声が小さかったこととキックです。

これからはもっともって声を出してキックを高く遠くにけれるようにしたいです。

「厳しかった合宿」

5年生 安井 健太

今年の合宿はとても厳しかったです。とくに厳しかったのは、二日目の最後の練習です。その練習は、コーチにOKをもらわないと何本もタックルをやり続けられないといけない練習です。三日目の試合の日は、全試合勝ちました。いままでのジャンボリーの中で四試合全勝したのは初めてです。五年生は、パスを中心としたプレーが多いのでこの日の試合も、パスを回してトライできた試合でした。最終日の六年生との試合は、勝ちたい思いでプレーしたので、悲願の一本をとることができました。この夏合宿の成果をミニ合宿と秋の県大会に生かしたいです。がんばります。

「夏合宿」

5年生 横島 拓朗

僕の今年の夏合宿の目標は、サインを覚えて、カンペイ(※)を使えるようにすることでした。でも、楽しみにしていた合宿だったのに、高熱を出してしまって、たくさん練習ができなくて、残念でした。試合は出れたけど、思うとおりに体が動かなくて、チームに迷惑をかけてしまいました。県大会では、バッチリ体調をよくして頑張りたいです。(※カンペイ: ずーっとカンペ=カンニングペーパーだと思い込んでいた母のちに菅平すがだいらの訓読みということがわかり苦笑* *)

「参加して初めて感じられること」

5年生 川原奨平 母

奨平は2年生から合宿に連れて行っていただいているというのに、毎年参加は父親に任せっぱなしで、昨年はじめて日帰りで見学に行った。『小学生なのに菅平なんて、贅沢だなあ。』などとのんびりと思っていたが、行ってみると関東のみならず関西からのチームもあり、『たかが小学生』などとは言えないような良い刺激の得られる場であることがよく分かった。今年、同宿とはいかなかったが土曜日から2泊3日ついて歩いた。昨年の見学ではわからなかった『裏方の合宿担当のお母さん方の有難さ』を痛感した。コーチの皆さんの有難さは日頃からわかっていたつもりではいたものの、宿の中はもちろんグラウンドでの水分補給などさまざまな場面で3・4・5・6年生の各チームの活動を一手に担って支援している合宿担当のお母さん方の様子には、ただただ頭の下がる思いだった。そして各学年にお手伝いのお母さん方がいることにも驚いた。一方で、『遠いから・・・』『下の子がいるから・・・』と全て任せっぱなしであった自分自身を反省した。来年、奨平にとっては最後になるであろう麻生での合宿。『また、手伝いに行かなくては。』と思っている。子ども・コーチ・参加者全員を大きな怪我無く、熱中症で倒れることなく、無事に引率して下さった多くの大人の方々に感謝いたします。

「成長」

5年生 齋藤 裕太の母

今年の合宿参加は裕太にとってどんな日々になるか…、母の思いは期待と不安で一杯でした。

日曜日に試合を観戦したのですが、何度も溢れてくる涙を拭いながらの観戦となりました。子供たちのひたむきな姿、悩んでいた裕太の思いもしなかったが、午後の試合で勝てたときはママたちみんな飛び上がって喜びました！そして最終日にいただいた「菅平賞」。知らせを頂いたとき、私は号泣し続けました。帰ってきた裕太にやっとの思いで「がんばったね！おめでとう！」と言うと「うん…」とだけ言った裕太…。真っ黒に日焼けした顔、そこにはひとつの山を乗り越え、成長した裕太がいました。

まだまだ、これからだと思います。でも今年の合宿をやりきった自信を胸に、よりいっそうがんばってくれたらと願っています。

5年生コーチの皆様、合宿担当のママたち、本当にありがとうございます！これからもどうぞよろしくおねがいいたします！

「合宿を終えて」

5年生 野川 真 母

一昨年に続き、今回も合宿担当母として、フル参加させて頂きました。二回目ということもあり、流れや

段取りは分かっていたつもりでしたが、参加人数が増えたり、天候や気温も年によって違い、ジャンボリーの対応等で、バタバタした場面も多かった様に思います。それでも、暑すぎる位の快晴の中、体調を崩す子供もほとんど無く、無事四日間の合宿を終える事が出来、本当に良かったと思います。五年母だけでなく、他学年のお母様方にもご協力頂けた事、感謝の気持ちでいっぱいです。

毎年、当たり前のように実施される夏合宿ですが、三浦校長はじめ、重住コーチ、加賀コーチ、多くのコーチ陣の細やかなご配慮や、事前準備の賜物だと、あらためて実感した次第です。本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

来年は六年母として、参加させて頂きませんが、現四年生母の皆さん、是非楽しんで夏合宿に参加して頂けたらと思います。

「熱い・夏合宿！」

5年生 濱田 透唯 母 濱田 玉貴

あっという間の4日間でした。

今年の合宿は私も合宿係りとして参加させて頂きました。

熱い3日間を前にふとんに入ったのですが、緊張していたのか眠れないまま朝をむかえました。いよいよ始まった朝、息子の様子は気になりつつも、氷のことや朝食の事で頭がいっぱいでした。とにかく最終日まで走りつづけた感じでランパスで何周か走ったのですが、辛いけどちょっと気持ちよく走れました。今まで毎年いろいろな方のおかげで無事に合宿ができていることをあらためて感じた4日間でした。

コーチの方々、今年もありがとうございました。親子して楽しく思い出に残る合宿になりました。

「夏合宿を終えて」

5年生 真山巧也母

コーチの皆様、合宿に参加されたご家族の皆様、夏合宿お世話になりました。お疲れ様でした。毎年子供は参加していますが、毎年余裕をつけて帰ってきます。今年は、「高学年でさぞごかれて泣いてくるだろう」との予想に反して、「試合に4勝した」、と楽しそうに話します。彼の生活で一番苦しいことはラグビーの練習、それも夏合宿だと思うのですが、そんな苦しさを楽しみ、喜びに変えられる素晴らしい機会をありがとうございます。

5年生 横島 拓朗 母 横島 由紀

あっという間の3泊4日でした。

天候に恵まれ、大きなケガやトラブルもなく、大変充実した日々でした。

個人的には、拓朗が出発当日まさかの夏風邪、高熱。まさか、私だけ行くわけにも、行かない訳にもいかず、人生初の40度超えを菅平で迎えた息子。出鼻をくじかれてしまいましたが、息子の練習にハツパをかける必要もなくなり、母を合宿係りの仕事に専念させてくれたんだと考えましょう。

係の仕事は、楽ではなかったですが、無事に終わった達成感で、それまでの寝不足や疲労も相殺できました。春の震災以降、様々な制限が生活のなかに入り込み、様々なことに「自粛」や「安全性」が問われ、子育ての「環境」や「考え方」までが国政にも取り上げられている今、「伝統ある麻生の合宿」を成し遂げることができ、三浦校長をはじめ、幹部・学年チーフコーチ、コーチのみなさまには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。健康であること、ラグビーができることに感謝して、大きくなって欲しいと実感した夏でした。

4年生



ジャンボリー全勝で歓喜。県大会も優勝目指します！！

海老原とあ、小野こうた、古田くう、熊谷ゆう、向野りょうや、森田けいいちろう
斉藤がく、斉藤ゆうと、津国ひろたか、小島りょう、田中こうき

試合に勝つより、むずかしいこと

4年チーフコーチ 曾我 浩

4年生のみなさん、今年の夏合宿はどうでしたか？

ひとりひとりの目標は、達成できたでしょうか？

試合の結果は、外岡コーチが書かれていると思うので、まずは、全部勝ったことを素直に喜びましょう。勝ったときのみんなの笑顔に、「ありがとう」と言いたいです。

特に、3試合ともに、完封で抑えたことは、ひとりひとりがディフェンスをがんばった結果です。

試合のなかでは、タックルやオーバーがうまく決まらなかったところもあったかもしれないけど、全員で守る気持ちを忘れずに、これからも練習していきましょう。

曾我コーチは、試合には勝ったけど、相手に「負けたなー」と思ったことがありました。

それは、常総ジュニアとの試合で、10本以上トライをとって勝ったんだけど、試合が終わって戻ってきてから、空が「おれ、相手の11番にすごいタックルだったってホメラレタヨ」と、とてもうれしそうでした。

また、同じその子が、曾我コーチのところに全員であいさつに来たときに、笑顔で握手を求めてきました。

それに比べて、コーチは、相手チームにあいさつに行くことも忘れて、慌てて次の試合の練習の準備に行ってしまいました。相手のコーチは、その子のことをどう迎えたでしょうか？チームが1本もトライをとれなくて、叱られただけでしょか？

ちょっと難しいけど、Good loser(グッドルーザー)という言葉があります。簡単に言うと、試合に負けて、くやしくても、相手を褒め称えることができる人のことです。

コーチがみんなに言いたいことは、試合に勝ったときこそ、負けた相手の良かったことを、ちゃんと覚えてほしいと思います。

県大会に向けて、これからも厳しい練習が続くと思いますが、夏合宿で味わった、ことを県大会で全部出し切りましょう！

ご父兄のみなさま。今回の合宿では、暑かったせいか、テント組も多く、その都度子供たちの面倒をみていただいたり、用具の移動などお手伝いいただきありがとうございます。新しい年度が始まるに当たっては、「頭でわかっていることを体で表現できるよう火をつける」のが、コーチの役割だとお話をさせていただきましたが、少しだけ「着火」しました。合宿で燈した心の中の火を、県大会に向けて、燃え上がらせるように、コーチ一同、一人ひとりとその気にさせたいと思います。

引き続き、応援よろしく願います。

夏合宿を終えて

4年サブチーフ 外岡 幸隆

「戦うハートをもつこと」+「声を出すこと」を4年生の合宿目標としてかかげました。外岡の評価としては、富士山登山に例えるなら「6合目」までできたと思っております。「戦うハート」につきましては、毎練習時、1対1のタックル・コンテスト(5本倒すまでは終わらない)を行いました。途中、相手を倒せなくて、「涙ぐむ」子もおりましたが、最後は全員、強い気持ちが出て、低くて強いタックルができてきました。「声出し」につきましても、練習時にはそこそこ「声はでていました」が、試合になると半分位でした。接点(ラック+モール)でのオーバー+押しに関しては、今回の試合では、「随所にいいラックでのオーバー」+「モールでの押し」ができました。外からコーチ陣が、怒鳴ることなく、試合開始から「戦うハートに火がつき」、当たり前のように「全員が声を出す」・・・秋に向かってこんなチームを目指したいと思います。

対外、対内試合結果は、以下の通りです。

ミニ・ジャンボリー:対常総ジュニアラグビーFC 0-11本〇麻生RS

対長野県少年少女ラグビースクール 0-13本 〇麻生RS

3年生との学年対抗(7分x3本) 0-15本〇麻生4年生

結果的には、全勝零封という、すばらしい結果でしたが、相手に低学年が多かったことを考えると、樂觀視はできません。夏休み(3週)後には、合宿の成果を再確認していい結果を残せるように練習を積み重ねていきたいと思います。

最終日の練習で、コーチングに関して、「ハッとさせられる」場面がありました。日頃、子供たちは、コーチの言われる通り練習するだけで、子供達の「自主性」にかけると思い悩んできましたが、3年との交流試合の前にコーチ陣は、グラウンドのマーカー設置作業があったので、子供たちだけで、コンビネーションをやっておくと指示をしたところ、各ポジションのリーダー候補達が、指示を出し、しっかり練習をしているではありませんか!。秋以降の子供達の自主性も取り入れた練習のメニューの組み立てをコーチ陣で再考していきたいと思います。

夏合宿を終わって

4年コーチ 小山田俊広

今年もやってきた菅平。期待通り梅雨も明け天気も良く、幸いおもったほどの強い日差しでもなく(その割に私を含め子どもたちもコーチ陣も真っ黒に日焼けしていたが)最高の3日間でした。

子供たちにとっては、6月から7月にかけてイベントや対外試合が多く、思ったような練習ができなかったけれど、この合宿でみっちり反復練習出来、充実した3日間だったと思います。誰が成長したというより全員が成長出来ている(子供たち本人ではなかなか実感できないと思うけれど)ので、今後の活躍を楽しみたいと思います。

<2011年度菅平合宿を終えて>

4年コーチ 宮内伸也

今年の合宿を終えて先ず感じたことは、「子供達は、確実に1年間の成長を遂げていた」と言うことです。数々の場面で成長の跡を垣間見る事が出来ました。

昨年の「声出し」を今年も継続しましたが、始めから良く出ていたと思います。

佐藤コーチからの「OK」サインも早い段階で出ていたのが、その証でしょう。
声を出して自分も仲間も力づけられる事、体で覚えてくれたのならうれしい限りです。

子供達だけの練習では、各自がきびきびとした動きを見せて、自然と声を掛け合っている光景が見られました。
コーチは口を出し過ぎかと反省させられる場面でした。

タックルも去年までのような手から当たって行くのではなく、
低く力強くを意識している事が感じられる、少し痛いタックルでした。

彼らは着実に「少年」になって行くことを実感できた夏でした。

初のスクール合宿

4年コーチ 上田 博朗

夏合宿の練習は内容的にもきつとかなりつらいものだったと思います。みんなつらい練習も楽しくやってくれていただろうか？そんな楽しい雰囲気作りや楽しく練習をさせてあげられたらどうか？「叱る」ではなく「怒って」ばかりいなかったらどうか？ラグビーをもっと好きになってくれたらどうか？自問自答してしまいます。

ただ、そんな心配をよそにジャンボリーでの試合では全員がいいプレーを連発してくれました。勝った後の集合写真では飛び切りの笑顔を見せてくれています。(別添写真)

素朴なんです、こんなことが見ていてとてもうれしくなります。やっぱり「楽しくラグビーしたいな」って改めて思いました。でも「楽」ばかりはだめですよ4年生諸君！！

夏合宿を終えて

4年 海老原 翔空

夏合宿ではみんなにパスをうまく出すことができました。キックの練習をしてキックもうまくできたと思います。がくとりようがとても頑張っていました。合宿全部楽しかったです。

合宿に参加して

4年 小野 航大

「大きな声でみんなに指示を出す」が目標でした。
「フォワード 入れ！」「オーバー」は言えた。
でも「マイボー」「ヤンボーヤンボー」「フォロー」はなかなか出なかった。
むずかしいなあ・・・
今年は、バーベキューで肉肉肉、いっぱい食った。

合宿を終えて

4年 向野 椋耶

ぼくの合宿の目標はひくいタックルをすることでした。練習ではできていましたが、試合ではできなかったのがざんねんでした。
また、練習でスタンドの練習をやって空の立場が分かり楽しかったです。試合では前半だけでもスタンドでプレーができてうれしかったです。しかし、まだできていないところがあるので、そこはなおしたいです。

「2011年夏合宿の感想」

4年 津国 大喬

ぼくの大きな目標はタックルを低く行くことでした。練習の時には出来たけど、試合ではあまりできなかった。
今年の県大会や交流試合では意識して、試合の時にこそ低いタックルをできるようにしたいです。

小さな目標は、ボールを持っている人のフォローに行くことでしたが、ついていけないこともよくあった。タックル以上に意識していきたいです。練習がない時でも、走る練習を続けます。

あと、目標にはなかったけど、声を出すことが出来なかったので、声をいっぱいだせるように頑張ります。

「低いタックル！」「速くフォローにつく！！」「声を出す！！！」この3つを県大会までにできるようにしたいです。

「合宿の感想」

4年 齋藤裕人

僕の今年の合宿の目標は「声を出すこと」でしたが、この目標は達成できませんでした。

試合では相手チームからのタックルにたえながら前に進んでトライをしました。とてもうれしかったです。

来年はもう一度「菅平賞」がほしいです。だから死ぬ気でがんばります。

合宿で達成できなかった目標の「声を出すこと」をこれからの練習で達成できるようにがんばります。

合宿での目標

4年 齊藤 岳

合宿での目標は、強いタックルができるようになることでした。練習では強いタックルができる様になってきました。これからも練習をがんばって試合でできるようになりたいです。強くなりたいです。

「楽しかった夏合宿」

4年 古田 空

ぼくの合宿の目標は、走ることと、つきささるタックルをすることでした。走ることはあまりできなかったけれど、つきささるタックルはできたと思います。

ぼくの合宿での一番の思い出はランパスです。なぜかという、最初は走りきれるとおもっていたけれど、だんだんきつくなってきて、ぼくは心の中でなんとしても走りきらなきゃと思って走りました。そして、最後まで走りきれてうれしくなりました。

県大会では、チームプレーで優勝したいです。

菅平合宿に参加して

4年 田中孝樹

僕は、合宿参加10日前に骨折治療のギブスがはずれたばかりで、みんなと同じ練習ができなかったけど、右足のキック練習・パスの練習がいっぱいできて、とても楽しかったです。来年の菅平賞は僕がとれるように頑張ります。ファイト！オー！

2回目の合宿

4年 小島 稜

今年で合宿が2回目でした。

今年は練習をしっかりとしたので、試合で味方にパスをして、味方がトライをしたから、少し活やくできたと思います。最終日に3年生と試合をして、後半に初めて試合でタックルをうまくできたので、とてもうれしかったです。

でも、菅平賞をとれなかったのが、とてもくやしかったです。なので、来年はちゃんと練習をして、試合でもその練習の成果を出して、そして菅平賞をとりたいと思います。

「楽しかった夏合宿」

4年 森田恵一朗

夏合宿で一番がんばったことは練習を一回も休まなかったことです。どんな練習でもあきらめず、くじけずにがんばりました。とくにがんばったのは、1対1のタックル・コンテストです。

一番つかれたのもこのタックル・コンテストです。ひじょうにみんなもタックル・コンテストで

燃えていたので、いつもの練習の3、4倍つかれました。とくにタックルがみんな強くなっていていつもの6、7倍気合いが入っているようで、少しあたるみたいぐらいでした。ぼくも、もっと強くタックルができるようにがんばろうと思いました。

ぼくにとってラグビーの合宿は、最高に楽しかったです。この夏もう一度行きたいぐらいです。来年の夏合宿が楽しみです。

菅平夏合宿を終えて

4年 小野航大 母 小野桂子

今年もすばらしい合宿をありがとうございました。土曜日の早朝に出発し、ほぼ全行程参加させていただきました。3年生の時とは、練習もコーチの厳しさも格段に違いましたが、どの子も最後まで本当に頑張りました。みんなの頑張りが、試合で1トライもされる事なく完勝を生んだのだと思います。秋の県大会に向けて、ますます楽しみなチームになってきました。この合宿をささえてくださった三浦校長はじめコーチの皆様、そして5年生のお母さま方、本当にありがとうございました。最後に今年もいろいろなシーンで、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。航大の気持ちに寄り添って頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

「ありがとうございました！」

4年 齋藤裕人の母

今年も日帰りでしたが日曜日に菅平行くことができました。すでに日焼けした子供達、なんだか急にたくましく見えてしまいました！

試合も長男や三男と時間が重なってしまい、2試合目しかじっくり観戦できなかったのですが、真っ赤な顔をして走る裕人を見て、ちょっぴり涙をこぼしてしまいました…。菅平に行くと思涙腺がゆるくなります…。子供達が一生懸命走り回る姿を見るだけで心が揺さぶられます…。来年はもう一度「菅平賞」が欲しいと言っている裕人です。その目標に向かって、頑張ってくれたらと思います。

コーチの皆様、合宿に付き添われた4年生のママたち、パパたち、お世話になり本当にありがとうございました。

菅平合宿に参加して

4年 田中孝樹の父 田中孝太郎

子供4人の末っ子孝樹6月5日に麻生ラグビースクールの練習体験に参加 即日に入会を決めて、12日、19日といきなり練習試合に参加 その19日の試合で左足くるぶし付近を骨折、2週間のギブス生活 整形外科の先生からは(ラグビー合宿はやめときましょう)と反対されながら、本人は(どうしても参加したい)と懇願

別メニューでもいいからと参加を決めました。現地では3日間親子で、パス練習・乱パス・右足のキック練習・腹筋・腕立て伏せ・胸反りと別メニューをこなし、最終日はコーチの練習試合に私も参加孝樹以上に私が、菅平を思いきり、楽しませていただきました。三浦校長はじめ、熱く楽しいみなさんに囲まれて、本当に有意義な4日間を送ることができました。三浦校長 コーチのみなさん父兄のみなさん本当にありがとうございました。来年は菅平賞を取りにいきます

夏合宿を終えて

4年 小島稜 父母

今年の菅平で、稜は大きく成長したと感じました。今まで見たことのない顔つきになっていて、真剣そのものでした。菅平賞の発表では、私まで緊張してしまいました。菅平賞には及びませんでしたが、成長の度合いは一番だったと思います。よく頑張った姿に感動しました。(母)

去年よりも、自分がどんな役割を果たせばよいか理解して、頑張っていました。顔もいつもみたいにニタニタしていなくて、きりりとしていました。頼もしく見えました。来年、期待しています。(父)

「2年目の菅平」

4年 森田恵一朗の母 森田康恵

今年の夏合宿はコーチにお任せして参加を見合わせようかと考えていました。親が姿を見せない方が精神的に大きく成長できるのではないかと考えていたからです。でも我慢できませんでした。

今年は体調を崩す子も多く、練習の激しさをうかがい知ることができました。我が息子の恵一朗はどうだったかと言えば、いつもと変わらず淡々と練習をこなしていました。あまり疲れていないのかと思っていましたが合宿後の1週間はなかなか調子が戻らず、合宿では自分の持っている力を出し切ってがんばっていたんだなあと後から気づきました。そのがんばりを「菅平賞」として評価していただけたのでしょう。いただけることはないだろうと思っていましたので、親としても感謝の気持ちでいっぱいです。恵一朗にとって、これから先の自信につながったと思います。今年も色々とお世話になりました。来年はサポートがんばります。

3年生



(後ろ) 熊谷祥 阿部凌大 原田開 日笠壮太 小坂海歩 野田怜佑

(2列目) 津国千智 吉田隼輔 児玉将梧 宮坂瑛人 太田佳吾 野村雄亮 米元悠翔 千秋武尊 上田武蔵

(1列目) 原田健匠 山内太朗 安藤雄也 斎川夏央 萬場康生 横尾瑛 角田翔 本田昂大

夏合宿を終えて

3年チーフコーチ 山本 慎一

3年生のみんなにとっては今回の合宿が初めてであり、同時に私自身もチーフコーチとしては初めてになり、いつもと少し違った緊張感の中スタートいたしました。心境としては、楽しみ半分、不安半分といったところでしょうか。今回の合宿のテーマは「激しく元気よく」に決めました。3年生は比較のおとなしい子供が多い為、とにかく大きな声が出せるようになってほしいこととプレーにも自信をもってほしいと思って決めました。最初は声も出ずおとなしかった子供達も、初日の午後からは本当によく声が出るようになりました。"みんなが声を出しているんだから俺もがんばろう、みたいな雰囲気になり、お互いに刺激し合いながらよくがんばってくれました。声が出ることによりプレーにも好影響を与え、動きも激しくなり活気ある練

習を行うことが出来ました。子供達の一番成長した点です。又それだけではなく、すれ違った知らない方にも多少ではありますが挨拶ができるようになったことも大きな成長の一つです。これから日常生活でも続けていこうと指導していきたいと思っております。3年生全員が声を出せばすごい力になります。この合宿を通じて出来るようになって

てきたので、相手チームを声で圧倒するような元気なチームを目指してこれからもがんばっていきましょう！頼んだぞ3年生！

又、最後になりましたが合宿をお手伝いしていただいたお父様、お母様本当にありがとうございました。子供達が最後までがんばれたのも保護者の皆様の力によるところが大きかったです。これからも三位一体でがんばっていききたいと思っておりますので、引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

「夏合宿夜の部」

3年サブコーチ 古田 十

合宿を終えたみんなの感想はどうだったでしょうか？初めての合宿でまだ3年生。楽しいだけの夏合宿でもいいのか、という考えもよぎりますが、山本コーチの問いかけに「(県大会で)勝ちたい！」と答えた子供達でしたので「ちょっとだけ」キツめの合宿にしたつもりです。まだ私の思い描くラグビーにはほど遠いです。コーチも努力して少しずつそれに近づけていきたいと思えます。

『気持ちでいかんかい!』

三年生サブチーフコーチ 清水 賢一

菅平、夏合宿、三年生の子供達はどう感じましたか。思いはそれぞれだと思いますが、合宿に入る前と帰ってからでは何かが変わったような気がしてくればコーチ達は嬉しいです。そんな子供達を六年生の関係もあって四月から指導していましたが、たった四ヶ月ですが君達はすごく成長しましたね。麻生の伝統(悪い)でもある、おとなしい・声が出ない・ハイと返事ができないといったようにスポーツをする上において必要な事が出来てませんでした。合宿の後半にはコーチが思う75%は出来るようになりました。当初はラグビーをしているのか押しくらまんじゅうなのかといった具合でしたがラック・パス・ランといった一連の攻撃も様になってきました。これから県大会に向けて行く訳ですがあと一つ君達に足りないモノは「負けない気持ち」ですね。自分に負けない・相手に負けない・苦しい練習に負けないといったような技術ではない心の成長が県大会で接戦であと一つどちらかにといった状況の時にラグビーの神様はきっと強い気持ち(勝ちたい)が相手より勝っているチームに微笑むと思えます。コーチと共に技術と心を鍛えて県大会で良い成績を勝ちとりましょう。

合宿中は御父母の皆様にはお世話になりました、お父さんコーチの皆様にはいよいよランパス・アタリの台になっていただき人数が多い学年なので非常に助かりました。

お母さんの皆様にはポカリのセット・やかんの水・けが人及び具合の悪くなった子供の介護・試合のあたたかい応援などたくさんのお事を影で支えていただきまして本当に有難うございました。県大会後の打ち上げでは良い報告を出来る事を期待して下さい。

夏合宿を終えて

3年コーチ 田口 幸吉

高学年担当コーチには申し訳ないと思えますが、今回は3年生担当での合宿で高齢化した肉体には優しい3日間でした。ひどい筋肉痛も無く、もちろんアザも無く、子供たちと一緒に走れた楽しい合宿でした。この合宿では厳しさと楽しさを子供達には味わってもらいたいと思っておりましたが集中力を継続させてあげることがあまりできず反省が残ります。子供達は厳しく怒られ、走らされ、それでも「コーチ、あと何分」と元気に訊いてきます。山光館に帰ると練習後とは思えないパワーで遊んでいて、「明日はどがんしたるか！」と思う3日間でした。こんな子供達も少しは逞しくなったのかなと思えますし、県大会に向けて楽しみが増した合宿でした。

最終日に6年生のADIにほんの少し参加しましたが巨漢フォワードに当たり負けして倒されました。今の3年生が6年生になったときの合宿を思うと身体が軋みます。頑張ります。

2011年3年生菅平合宿

3年コーチ 矢部 孝徳

私がこのスクールにきて、3年生の合宿はおそらく初めてだったと思います。昔のイメージからすると3年生のレベルはもっともっと低かったはずですが、今の3年生は今までのコーチ陣が素晴らしかったのでしょうか、ラグビーのスキルは大変ハイレベルだと思います。その為か反対にスキルアップすることばかりに気を回してしまいがちな？と、思いました。ここでもう1度基本を再確認とタッチフットを毎回、毎回、コーチ陣も含めてやれば、スペースの認識、パスのスキル等のアップに繋がると思っています。子供たちは頑張っていてやっています！今後は楽しみです！

2011 合宿を終えて

3年コーチ 川原 篤

スクールの合宿に参加して今年で4回目になります。毎回子どもたちの変貌を楽しみに関わっています。合宿は体験活動の宝庫といわれています。技術の修得に加え「豊かな人間性」を育てる絶好のチャンスです。普段一緒に生活したことのない仲間やコーチとともに、共同生活をとおし他者との関わり方を学ぶなかで、家庭の温かさや親への感謝の気持ちを体験します。「自主自立、ルールを守る、自他の安全や健康への配慮、他への思いやり、挑戦する気持ち、正しい判断ができることなど」さまざまな能力を高めご家庭に戻ったのではないのでしょうか。コーチとして貴重な時間を子どもたちと共有できたことに感謝します。

「男子三日過ぎれば刮目して見よ」

3年コーチ 清水 翔太

3年生にとっては初めての夏合宿でしたが、大きな怪我もなく無事に帰ることができました。非常に密度の濃い練習ができ、子どもたちの成長する瞬間に何度も巡り合うことができました。この4日間の経験をバネに、さらに大きく飛躍してくれればと思います。

ご協力いただいた父兄の方々には、厚くお礼を申し上げます。これからも変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

『2011菅平合宿』

1年コーチ:原田 泰治(3年臨時コーチ)

今年の菅平合宿は、息子(3年生)共々、土曜日早朝からの合流となり、実質、二泊三日での参加となりました。昨年までは低学年として参加させて頂いており、正式な形での参加は今年が初めてとなります。今年は、3年生のお手伝いをさせて頂きましたが、この学年は嘗て、私がコーチをさせて頂いた事もあり、殆どの子供達は幼少時期より馴染みがあり、とても懐かしく感じました。幼稚園、小学校1年生時にはまだまだコーチに『やらされている』感が有りましたが、試合の中で仲間への励ましや指示、チームを鼓舞する掛け声等、本当に逞しくなった姿を感じ取る事ができました。

また、練習内容も基本プレー主体でよく考えられており、短期間で技術的な事も随分と身に付いたのでは無いかと思います。(折角身につけた技術を夏休みで忘れなければ良いのですが……)

彼等にとって初めての県大会まで2ヶ月程ですが、きっと今回の合宿の成果を存分に発揮してくれる事と信じております。そして、晩秋の頃にはコーチ、保護者の皆様と勝利の美酒に浸りたいと思います。最後になりますが、今回の合宿でご指導頂きましたコーチの皆様、またグラウンド、宿舎で子供達のお世話を頂いた保護者(特にお母様方)の皆様にご心から御礼申し上げます。有難う御座いました。

「夏合宿を終えて」

3年コーチ 亀田 直幹

この学年では初めての夏合宿。宿では学年縦割りの共同生活で、普段の練習では体験できない上級生との生活を体験しました。人数も多く、生活面では少し心配でしたが、予想以上に子供達はたくましく、元気な声が宿に響いていました。練習や試合でも、いつもよりたくさん声を出してがんばっていたと思います。かなりの練習量だったのにすぐに元気になる子供達の体力には改めて感心しました。3年生にして、既に

ついて行くのにやっとの状態です。最後に、この合宿が事故もなく終了できたのは、ご父兄の皆様のご協力があったからこそと感謝しております。ありがとうございました。今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。

4日間の夏合宿

3年 熊谷 祥

ぼくの部屋は、けしきがきれいによかったです。木がたくさん見えました。土曜日のはじめに、合宿でこう思いました。午前と午後の練習が、こんなに長くやるんだと思いました。疲れました。日曜日に、しあいがあってさいしょは1点さで負けたのがくやしかった。もう1回しあいがあって、あいてに1点もとられずにかつたのがうれしかった。4年生からは1点もとれなかったけど、いっしょうけんめいがんばったのが、自分ではよかったですと思いました。県大会は、ゆうしょうしたいです。

夏合宿のかんそう

3年 阿部 凌大

夏合宿での目標の大きな声を出すことは、いつもより大きく声のでていたのでよかったです。みんなとなかよくさせて子どもだけでとまったのでうれしかったです。夏合宿のれんしゅうやしあいは、はげしかったけれど、楽しく夏合宿ができたのでよかったです。来年の4年生の合宿の時もがんばります。

「夏合宿」

3年 日笠 壮太

さいしょ合宿がいやでなっていたけど、とちゅうからおもしろくなってなきやみしました。ぼくは、オーバーやタックルがだめなので、それをむくひょうにがんばりましたがうまくできませんでした。でも、こえは出せるようになったのでよかったです。しあいがぜんぱいしてくやしかったので、もっとオーバーやタックルのれんしゅうをしてかちたいです。

「試合でいかせたオーバー」

3年 小坂 海歩

わたしははじめて夏合宿に行きました。はじめてなので行く前からとても楽しみでした。練習では自分たちが声を出さないせいでランパスを何回も続けて、とてもつらかった。試合では、さいしょの試合でまけてしまったけど「いいオーバーだった」ってほめられてうれしかった。次の試合は大差で勝ってうれしかった。すごうれしかった。

「夏合宿」

3年 野田 怜佑

夏合宿でタックルとオーバーがマスターできてよかったです。あとセービングも教わってよかったです。来年も合宿くをがんばりたいです。

2011年夏合宿のかん想

3年 津国 千智

ぼくの夏合宿の目標は低いタックルと低いオーバーをすることでした。目標をたっせいすることはできませんでした。ほかにも、フォローをすること、練習中に声を出すことができました。タックルは低くはいれたのですが、まだあたりは弱かったです。県大会までにはつよいあたりをできるようにがんばります。

「楽しかったよ合しゆく」

3年 吉田 隼輔

ぼくは、合しゆくでは低いタックルをがんばりました。楽しかったことは、2対2でした。さいしょは負けていたけど、後になるとさいしょよりつよくなりました。だから楽しかったです。くるしかったことは、さいごのランパスです。なぜかと言うと、いいと言われるまでやりつづけたからです。

ぼくは、また来年も合しゆくに行きたいです。

夏合宿

3年 児玉 将梧

ぼくは、合宿に来たのは4回目だけど、こんなにつかれたことはありませんでした。声を出すことと、低くタックルすることができました。ランパスでは、前よりボールをもらったら、前に出ることを心がけました。できなかったことは、みんなでパスをつなげなかったことです。サニアパークでの試合では、2試合負けただけで、それを県大会で活かしていきたいです。来年は、すが平しようを目指してがんばります。

初めての合宿

3年 宮坂 瑛人

僕が合宿に行って出来たことは、オーバーとトライです。出来なかったことは、タックルと声出しです。タックルが出来なくて悔しかったです。今度の合宿では、タックルを頑張りたいです。トライをして思ったことは、4年生との試合で初めてトライをとれてうれしかったです。あと、僕は4年生に負けて初めて悔し涙を流しました。

夏合宿

三年 太田 佳吾

ぼくは、目ひょうのプレースキックを練習してうまくなったのでうれしかったです。そして、しあいでは、4年生のいるチームに勝てたのですごうれしかったです。次の目ひょうは、県大会でプレースキックを全てきめてゆうしょうすることです。

「夏合宿！！」

3年 野村 雄亮

ぼくは、夏合宿で気持ちを強くする事ができました。試合は負けただけで、みんなでラグビーができました。練習はきびしかったけど楽しかったし、タックルがたくさん決まるようになりました。練習試合にもBチームはA、Cチームに逆転して勝てたのだからぼくは成長したと思っています。ラグビーの仲間と初めて寝泊りして楽しかったです。学年が上の人とも友だちになりました。最初の日はちゃんとできるか心配だったけど、ちゃんとできました。行きのバスは心配だったけど、帰りのバスは寝てしまいました。来年はもっときびしくなると思うけど、今から楽しみです。

「初めての夏合宿」

3年 米元 悠翔

合宿で出来た事は目標にしてた声を出す事です。出来なかった事はタックルです。きつかったけど色々な事が学べて良かったです。来年の合宿も楽しみです。

初めての夏合宿

3年 千秋 武尊

行く前は、ドキドキしていたけど、とても楽しかった！また行きたいです。合宿で出来た事は、スピードをつけてボールをもらう事。出来なかった事は「低い」タックルと大きな声を出す事です。県大会では勝ちたいです。

合宿の感想

3年 上田 武蔵

けっこうつらかったけど、朝のれんしゅうは、あまりつかれなかったです。できたことはタックルをひくくいて相手がおきようとしてもちゃんとはなさないところでした。できなかったところは、しあいでもけっこうはずされたことです。来年はタックルをぜんぶきめて今の4年生にかちたいです。

「がんばった夏合宿」

3年 原田 健匠

夏合宿は今回で二回目だったけど、練習が前よりきつかった。タックルはいけるようになったけれど、試合でトライは取れなかったし、あばれるのもあまりできなかった。でも、楽しかった事もあった。試合のグラウンドの空気もおいしかったし、バーベキューや夜の星や花火も楽しかった。来年もまた、行きたいと思います。

合宿のかんそう

3年 山内 太朗

はじめてラグビーの合宿へ行きました。れんしゅうはとでもきつかったです。とくにしあいのあとのれんしゅうが一ばんきつかったです。でもしあいではやまとの4年生チームからトライをきめてコーチたちにほめてもらってうれしかったです。しあいには負けてしまったけどぼくもトライできてよかったと思いました。へやでは6年生がやさしくしてくれました。さいごの日はみんなとたのしく帰れてよかったです。

「楽しかった夏合宿」

3年 安藤 雄也

できたことはタックルとディフェンスです。タックルはいっぱつでたおせるようになりました。合宿では、もっとコーチ対3年生で練習試合をやりたかったです。トライの練習ももっとやりたかったです。練習はきつかったけど楽しかったです。

はじめての夏合しゆく

3年生 斎川 夏央

夏合しゆくは楽しかった。練習はきびしかった。つるRSとのし合は勝ててよかった。トライができてうれしかった。合しゆくの目ひょうだった「ふみこんだタックル」はできなかったけど一生けんめい走った。バーベキューは楽しかった。花火がキレイだった。秋は一生けんめい走って、ふみこんだタックルを決めたい。トライもしたい。

はじめての夏合宿

3年 萬場 康生

ぼくは、合宿前に3年生のキャプテンになった。ぼくは、れんしゅうのときよりもみんなをまとめたかった。そして、夏合宿のれんしゅうがはじまった。いつもより3年生全員をまとめるのがむずかしかった。みんなをまとめられずに、コーチにきびしくんれんされました。そしてぼくとみんなは、つよくなったと思いました。ぼくは、もっとチームをまとめたかったと思いました。

夏合宿について

「はじめての合宿」

3年 横尾 瑛

合宿前はすごく楽しみでしたが、練習がきびしくて苦しかったです。試合はあまりよくなかったけど、これからもっと練習して初めての県大会みんなでがんばって優勝したいです。

「初めての夏合宿」

3年生 つのだ しょう

夏合宿は暑くて大変だったけど、きれいな天然芝のグラウンドで、いつもと違う練習ができたので楽しかったです。来年も夏合宿に参加して、菅平賞をもらいたいです。

夏合宿について

3年 本田 昂大

ぼくは、はじめての合宿だったのに足のねんざが治らなくて、ほとんど練習に参加できずとても残念でした。そのため、合宿の目標は、パスの練習をする。コーチの手伝いをする。みんなのタックルや練習を見る。声をかけるでした。見学している時が、長くてきつかったけど、パスを強く投げられるようになり、とてもうれしかったです。ただ、みんなに声をかけることは、あまりできませんでした。試合で負けている時は、自分も一緒にできたらと思っていました。みんなと一緒に練習は出来なかったけど、とても面白かったです。来年は、けがをしなくて、参加をしたいです。

「初めての夏合宿」

3年 日笠 壮太の母

黒川駅で集合時、まるで年少のときに幼稚園の初登園で泣いてバスに乗るのを嫌がったときのように乗車拒否し、大変不安なままの出発でしたが、日曜日に試合と練習を見に行ったときには、泣くのをこらえながらも弱音をはかずに頑張っており、みんなに追いつけないながらも壮太なりに成長したなと思いました。初めての夏合宿。家族と離れてひとりで3泊4日もよく頑張ったね。必ず何かがプラスになったことと思います。もうすぐ3年生も折り返し。これからは、ラグビーにおいても、普段の生活においても、落ち着いて状況判断し、即行動に移せるよう、視野の広い人になってもらいたいです。

「合宿に参加して」

3年 米元 悠翔の父

父親としての初めての菅平合宿。三日間子供達と一緒に練習したり試合を応援したり本当に楽しく過ごさせて頂きました。また子供達の普段見る事の出来ない表情を沢山見る事ができ、参加して本当に良かったと思います。悠翔は途中で体調を崩したりとまだまだ体力が足りないので家でフィットネストレーニングをさせたいと思います。最後に、校長をはじめコーチの方々、親子共々本当にお世話になりました。県大会に向けて今後とも厳しいご指導を宜しくお願い致します。

20年ぶりの菅平の地にて

3年 千秋 武尊(センシュウ タケル)の父

大学3年の夏以来遠ざかっていた菅平合宿、息子よりも興奮し楽しみにしていたのは間違いありません！土曜の朝7時前には山光館に到着。保護者一番乗り(笑)で朝練から参加しました。眺めてるだけでは勿体ないので最終日のランパス迄、全ての練習に年甲斐も無く参加。日頃の不摂生がたたって息も上がり気味ですが、子供達の手前、弱音も吐けません。同じメニューをこなした達成感と連帯感が心地良い身体の痛みとして残っています。20年前には思いもよらなかった家族と一緒にラグビー合宿、とても感慨深く幸せな3日間でした。熱くご指導いただいたコーチの皆様、そして給水準備に奔走していたママ達に感謝です。暑い中有難うございました。<追記1>子供達、お疲れ様。みんな頑張ったね。でもまだまだ余力があったのでは？追い込みが足らなかったかも？仲間と一緒に寝泊りしたこの経験を良い思い出にしてね。<追記2>合宿用にと購入したカンタベリーの練習着を一度も着用する事無く紛失して帰宅した愚息のタケルにひと言。タケル君、合宿の頑張りを称えようかと思ったけど一気に帳消しになったよ(怒)

はじめての夏合宿見学

萬場康生の母 恵子

初めての夏合宿。我が家は近くにキャンプを張り、2泊3日で応援に行きました。康生は、合宿の一週間ほど前から緊張しているようで、すこし心配をしていました。しかし、グラウンドに到着し、見つけた我が子は元気に練習に参加しており安心しました。合宿中の練習・試合は、今までにない厳しさ、暑さの中の長時間練習。本人も悔しさやつらさで家でもあまり見せない涙をながしていました。初めての経験で一回り大きく成長したことと思います。コーチ、担当のお母様方には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

夏合宿

阿部凌大の父

今回の合宿に参加するに際してひとつだけ課題をかせました。それは、「誰よりも大きな声を出して元気よくプレーをすること。」まずは気持ちから前向きになって欲しい。そこからがスタートとの思いからでした。今回の合宿のテーマ、「はげしく元気よく」はまさにそうあって欲しい目標です。本人に大きな声をだせたか聞いてみると‘出せた’との事です。親としての評価としては、、、ものたりなさを感じていますが、あの暑いなか朝6時半から夕方6時近くまでみんなでがんばったことは、とても貴重な体験をさせていただいたと感謝しております。また、この夏合宿で得た経験と頑張りが次につながる事を期待しています。今後ともご指導のほどよろしくお願いします。

驚いた

3年生 斎川 夏央 親父 宏

菅平に3時間で着いたのに驚いた。様変わりに驚いた。暑さに驚いた。其れより何よりも練習に驚いた！17日に日帰りで見学(?)させていただきました。夏央に「密着」したのは初めてだったので、新鮮で楽しかったです。そして、頑張りに正直嬉しかったです。午後は2試合とも面白く観戦できました。矢部コーチ、清水翔太コーチをはじめ3年生コーチの皆様本当にありがとうございます。また、早朝宿泊先に到着するや、何人もの方から「夏央がトライしたよ」とお声を掛けていただきありがとうございます。今後とも宜しくお願いします。あ、試合のビデオに収録されている自分のやかましさに驚いた！皆様お騒がせいたしました。

合宿の感想

3年 山内 太郎(父)

今回の合宿では山本コーチはじめ、3年生コーチの皆様、他学年コーチの方々、練習に参加されたご父兄の皆様にご感謝申し上げます。皆様の熱いご指導のおかげで太郎もチームのみんなの練習についていたのではないかと考えております。普段よりもさらに熱の入った練習を見学させてもらって必死になって練習している子供たちがホントに戦っているなあ、と感動して見ていました。合宿が終わった今でも、練習で大声を出している姿、試合で相手に食らいつく姿、悔し涙、嬉し涙の子供たちの姿がはっきりと思い浮かびます。これだけの練習をしたのだから是非県大会では優勝してもらいたいです。そしてさらなる感動をみせてほしいです。皆様お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

低学年



(2列目左から): 齋藤裕気・海老原銀次・小坂龍平・河瀬孔太郎・都留光平・萩原起・都留茉奈実・無田快
(1列目左から): 京屋光琉・濱田昂輝・竹川正剛・宮澤樹・小高佑・中原侑温

『2011年・夏合宿に参加して』

低学年コーチ 竹川 健次

低学年の、菅平賞は、,,,,,,『全員です!』ワァ—————!(拍手と大歓声)
「よくやったゾ!」「がんばったぞ!」と高学年のお兄ちゃんからの励ましの声!
感動でした。本当に優しい子供たちです。これこそが麻生RSの財産ではないでしょうか?
仲間を思いやる心、励ましあう言葉、さすが日ごろの中学年、高学年コーチの指導の表れ、これこそが“次代を背負う若者づくり”です。深く感動しました。本当にありがとうございました。また、合宿担当のお母さん方にも感謝申し上げます。

いつも大変お世話になります、夏合宿限定・低学年コーチ・竹川です。
今年も菅平にやってきました。麻生RSにお世話になり早6年、今年で5度目の菅平です。息子の正剛(2年生)も4回目の菅平合宿となり、すっかりラグーマンらしくなってきました。
今年は低学年13名(2年生:12名、幼稚園:1名)と一緒に夏合宿を満喫できたことを心から良かったと思いい感謝しております。今回は、初めて参加する子も多く、来年の合宿に向けてよい体験ができたのではないのでしょうか。彼らにしてみれば、菅平って?夏合宿って?てな感じだったと思いますが、青い天然芝とおいしい空気の中、いつもと顔色の違うコーチによって、子供達もいつもと違う雰囲気にも成長できたのでは、と思います。

今年も、昨年同様にテーマを決め、合宿に望みました。そのテーマとは“ダウンボール”→“オーバー”→そして“マイボール、トライ”です。この一連の“流れ”を徹底的に繰り返し、反復練習をしてみました。

低学年にできんの?必要なの?って思われますが、他のスクールも口を揃えては“オーバー、オーバー”って叫んでいます。これは昨今の近代ラグビーにおいては必要な戦略であり、低学年レベルとはいえ

悔ってはいけません。今年もジャンボリー大会にエントリーして、4 試合も他県のスクールと試合ができました。結果は 2 勝 2 敗。練習の成果を証明できたことは、子供たちに自信を持たせ、今後の成長につながるものと確信します。

そして試合の後は、菅平高原・名物、ダボス山登山(標高 400m)に挑み、みんなで記念撮影！更にグラウンドの戻り、また練習。よくこの厳しくも愛のある練習に耐えたと思います。しかし、ホテルへ戻って、“肝試し”や“鬼ごっこ”。『どこにそんな体力、残っとなねん！』って思わず本気でツッコミ。コーチ一同、本当にビックリさせられました。

来年も願うならば夏合宿に参加したいと思います。叶うならば、低学年も一緒に連れて行けたらなと思います。そして最後に、今年は大きな怪我もなく過ごせました。(安堵)

筋肉痛だけの竹川より

『今年も来ました菅平！暑い夏、激しい練習、爽快な日々』

幼稚園コーチ 牧野 義之

今年も無事に菅平合宿が終了いたしました。

これも、全コーチ、ご父母、そして子供たちとの三位一体の活動ができたからだと改めて感じております。

ご参加のご父母、特に、5 年生のお母様には、心より御礼申し上げます。

さて、今年も各学年コーチが、ありとあらゆる考えを巡らして素晴らしい練習が実施されました。

また、2 年生以下の子供たちも、自主参加ながら気迫にあふれる練習を行うことが出来ました。

毎年同じように合宿を実施しておりますが、今年は、東日本大震災という大きな災害の後の合宿でもあり、余震、放射能被害など様々な不安もあったと思います。

しかしながら、いざ合宿期間中は、そうしたことを拭い去るような好天に恵まれ、激しい練習、素晴らしい試合が繰り広げられました。

練習の辛さを乗り越え、試合で激しさを一層知った子供たちの笑顔は、本当に爽快の一言でした。

この気持ちを忘れず、県大会、そして 6 年生はファイナルカップまで、麻生魂を維持して頑張してほしいと思います。

頑張れ！！麻生のリトルラガーマン！！

『低学年 夏合宿を終えて』

2年コーチ 濱田 正行

今回の夏合宿では 2 年生が沢山参加してくれました。来年の正式参加に向けても非常に嬉しい事です。

去年同様、竹川コーチに低学年の取り纏めとして対応して頂き、練習ではダウンボール後のオーバーを重点的に行いました。また、タックルマシンを使った練習も行い、倒すタックルを練習しました。

残念ながら私は低学年の試合をすべて見られませんでした。練習の成果が発揮出来た非常に良い試合だったようです。

最終日には麻生 RS 恒例のランパスに低学年として参加しました。初めて参加した子達がほとんどでしたがスピードもあり、パスミスもほとんどありませんでした。

他学年のコーチからも低学年は非常に有望だとの言葉を多々頂きました。

子供・コーチ共に怪我も無く、無事終える事が出来、非常に良い夏合宿となりました。

来年も万全な体調で挑みたいと思います。

『菅平合宿に参加して』

2年コーチ 野田 卓人

今年初めて菅平の合宿に参加させていただきました。担当学年である 2 年生は、夏合宿限定・「竹川塾」の塾長を始め、その他のコーチに殆どお任せして、写真の撮影も兼ねて、各学年の練習をじっくり見て回りました。

合宿 2 日目からスタートした練習ではこどもたちは通常の練習と同じ気持ちでメニューをこなしているようでしたが、そこは合宿。出来なければ何度でも反復して体に染み込ませる、怠慢なプレーは連帯責任。合宿の厳しさを肌身で感じ取ったこどもたちがほんの 2~3 日で激変して行くのを目撃することが出来まし

た。

試合で負けていても声を出して気持ちを一つにし、逆転勝ちした学年、涙を流しながら何度でもタックルバッグに向かって練習するこどもたち、試合でのこどもの雄姿を見て手を取り合っただけで涙を流すお母さんたち…。感動しました。

「感動の夏合宿」で終わるはずだったのですが、「本気を出しちゃダメ」と何度も言われていたコーチ試合。どう見ても皆さん本気でした。退場者が5人も出るなんて。私も某トップリーガーにはじき飛ばされ、直りかけていた首と肩が…。次の日を有休にしている助かりました。今年はポイントスパイク禁止になりましたが(それを知らずに前日、ポイントスパイクを購入したKコーチ、御愁傷様です)、来年はヘッドキャップ、シヨルダーベスト装着義務化かタグラグビーに…。宜しくお願いします。

『初めての合宿フル参戦』

2年 宮澤 樹の父 2年コーチ 宮澤 秀毅

合宿は今年で3回目、過去2回は2日目からの参加でしたが、今年はバスに乗らないまでも、1日目からのフル参戦。

朝早起きして、一人で運転で行くより、2年生の次男がいるだけでも行きは楽しくいけました。

5年生のコーチからは5年生に入ってほしいとの話もいただきましたが、いざ合宿での練習を見ていると、気合いの入り方が違うので、遠慮させていただき低学年を見させてもらいました。

今年の低学年の参加が多く、普段の練習ではできていなかったタックルができるようになった子や、泣きたい気持ちをこらえている子の姿が見れて感動しました。

来年からは合宿でしかこの学年を見れなくなりますが、将来楽しみです。

『夏合宿』

2年 濱田 昂輝の父 2年コーチ 濱田 和弘

息子ともども初めての夏合宿参加になりましたが、この3日間は”気づき”と”感謝”の連続でした。まずはこのような貴重な機会を与えてくださった麻生ラグビースクール、企画、様々なアレンジをしてくださったコーチ、ご父兄の方に感謝させていただきたい、と思います。

合宿、練習自体は密度の濃い、厳しくも充実した内容で子ども達と一緒に考え、体を動かし、普段はなかなか時間を割けないような事にもふれることが出来、早速今後の練習にも反映させていきたいと思いました。また、子ども達は普段の練習、学年といった枠を超えて生活をともにする事で集団生活の楽しさ、厳しさに触れることが出来て貴重な体験になったと思います。

私個人としても、保護者、コーチ間で普段は限られた情報交換しかできない中、今回の合宿では色々な方の意見やお話を聞くことで、更に強い結びつき、目的の共有を再認識できた貴重な3日間でした。

最後に、とにかくゲームで走れなかった…。反省…

『夏合宿』

幼稚園 中原 侑温の父 1年コーチ 金 聖雄

当日の到着までは漠然と熱くてきついと思い込み気合いが入りませんでした。グラウンドに入って美味しい空気と柔らかい芝生に触れながらスイッチオン！

のびのびと走り回る子供たち、試合の数を重ねながらだんだんとラグビーに夢中になっていく子供たち、全力で声を出しながら熱心に指導するコーチたちをみて、

感銘を受けました。コーチ試合は正直怖かったのですが、後半コーチの皆さんとチームになって走れて嬉しかったです。

どーんとあたってその衝撃が体の中に沈んでいく経験、これがラグビー！と思う瞬間でした。

『なつがっしゆく』

2年 海老原 銀次

合宿に初めて参加して、とてもたのしかったです。早く来年になって合宿に行きたいです。試合で全勝したかった。だからタックルもトライももっと頑張ろうと頑張りたいです。

『がっしゆくのかんそう』

2年 かわせ こうたろう

しあいトライを2かいとれたのがうれしかった。
でも2しょう2はいで2かいまけたのがくやしかった。
キャッチのれんしゅうで1ばんにとれて(キャッチできて)ぬくれたことがうれしかった。

『なつがっしゆく』

2年 小高 佑

合宿に行ってびっくりしたことは、グラウンドに川があったことです。そして、試合でヤマトに勝ったことがうれしかったです。
ただ、はじめて部屋に入ったとき、だれもいなかったことがさびしかったです。

『さいごのしあい』

2年 さいとう ゆう気

さいごのしあいで、がんばっておした。
でも、ぼくはトライできなくておわってからないうた。
こんどはトライできろようにがんばる！

『2011年・夏合宿の思い出』

2年 竹川 正剛

父「夏合宿はどうだった？」
正剛「オーバーとタックルができて、うれしかった。」
父「他には？」
正剛「トライもできて良かった。」
父「他には？ 花火はどうやった？」
正剛「とても綺麗だったけど、大坪コーチの花火が木に当たってビックリした。」
父「そうだね、ところで、来年も行く？」
正剛「多分、行くと思う」
父「そうか、応援しているよ！」

『なつがっしゆく』

2年 つる こうへい

オーバーがすこしうまくなりました。花火がたのしかったです。
らいねんのがっしゆくでは、もっと強くなりたいです。

『なつがっしゆく』

2年 つる まなみ

しあいでオーバーをしたら勝ってよかったです。
はじめてなので、いろんなことがちょっとドキドキしたけれど、ちゃんとできてよかったです。

『すがたいらのがっしゆく』

2年 萩原 起

ぼくは3かい目のがっしゆくに行きました。行く前に『あいてをとめるタックルをできるようにする』もくひょうをきめました。
しあいでは、とめられたのもあったけど、とめられなかったのもありました。
こんどやるときは1点もとられないようにぜんぶとめたいです。

『なつがっしゆく』

2年 濱田 こうき

はじめてがっしゆくに行ったので、なんかドキドキしましたが、いがいとだいじょうぶでした。れんしゆくは、ぜんぶきびしかったです、そのせいかがいしあいにでたので、よかったです。トライとタックルがきまって、オーバーはとくにいっぱいれんしゆくしたので、できる！とおもっていましたが、ぼくがおもったようにはできませんでした。でも、できてよかったです。花火大会がとてまたのしかったので、来年もぜったいさんかしたいです。

『がっしゆくでできたこと できなかったこと』

2年 宮澤 樹

できたことはタックルとトライです。
できなかったことはこえを出すことです。
らい年はもっとこえを出したいです。

『なつがっしゆく』

2年 無田 快

楽しかったこと “みんなでごはんをたべたこと”
うれしかったこと “しあいにかてたこと”
たいへんだったこと “さいごのしあいでみんなをおしたこと。”
くやしかったこと “しあいにまけたこと”
“もっとラグビーがうまくなりたいです。”

『なつがっしゆく』

年長 小坂龍平

朝ごはんのきゅうりはおいしかった。
試合に出れて楽しかった。

『なつがっしゆく』

年長 中原 ゆおん

たのしかった、おふろがたのしかった。しあいでトライがとれてたのしかった。ぜんぜんつらくなかったけど、さいごのランパスはつらかった。
こんどはりゅーくとがっしゆくにいきたい。

『夏合宿の感想』

2年・河瀬 孔太郎（母）

2年生にもなったのに未だ、試合中に芝や砂と遊び「試合を見ろ！」「応援しろ！」と怒られていた子供達…。しかし、今回は違いました。立って声を出し、仲間の気持ちになって応援した試合では、チームは見事に勝ちました。練習でも試合でも「声を出せ」と言われます。何のために「声を出す」のか…この意味を、少しでも理解して、感じてくれればなあ～、と思いながらグラウンドの外から見ていました。

『夏合宿』

2年 小高 佑（父） 聡

コーチ、父母、メンバーの皆さん、合宿お疲れ様でした。本人も子供だけの部屋割りなど、少し親と距離を置く生活も不慣れということもあり、初めは少々緊張していたようです。最終的にはチームの皆さんとより親交を深めることができ、試合も勝つことができ、得るものが多かった3日だったと思います。私もお手伝いで子どもたちのタックルを受けましたが、プレーを通しての子供たちの個性を感じ、また、わずか3日間でめきめき成長する子供たちを見ることができ、楽しく3日間を過ごすことができました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

『裕気の涙』

2年 齋藤 裕気 (母)

裕気にとっては初めての菅平でした。

日曜日の午前の練習と午後の試合と少しかの参加でしたが、ハンディのある裕気にとって、往復8時間の移動だけでも負担になります…。でもやはり菅平マジックでしょうか？裕気はとても楽しんですごしていました。

最後の試合では押しまくる裕気！終わってから戻ってきた裕気の顔を見て、私は涙を流していました…。裕気も泣いていました…。私の涙は嬉しい涙…。裕気の涙は悔しい涙…。

子供たちの頑張りを見て私は泣けました。裕気もいつか嬉しい涙を菅平で流してくれたらと思っています！

『夏合宿』

2年 都留 光平・茉奈実 (父) 泉

天然芝の上を走り回る子供達の姿をみているだけで、これまでに感じたことのない感動がありました。この機会を与えていただいたスクール、コーチ、5年生の父兄に大変感謝しています。体力面での課題も見えたので、その点は子供達にうまく伝えたいと思います。

『夏合宿』

2年 都留 光平・茉奈実 (母) 純子

今回の合宿に参加して子供達には初めての体験の連続でした。一日中グラウンドでラグビーをし、スクールの友達と一緒に食事やお風呂に入ったりしました。ラグビーの上達はすぐには難しいかもしれませんが、子供達の中にきっと貴重な体験が残ったことと思います。

『初めて合宿に参加して』

2年 萩原 起、5年 萩原 睦 (母) 信子

初めて菅平入りしました。子供たちの姿に、コーチの熱いご指導に、感動の連続でした。

私は初めてでしたが、今回3回目となるわが子たちは、合宿のスケジュールからいつもと少し違うコーチの様子まで見通しがたつようで、準備のときから色々教えてくれました。合宿での覚悟をしているようで頼もしく見えました。

現実には想像より厳しく、けれど子供たちが活き活きと楽しそうでもあり、やりきった一という様子を目の当たりにして、見に来てよかったと思いました。

最後になりましたが、コーチの皆さま、合宿係のご父母の皆さま、ありがとうございました。子供の大きな成長の機会をいただけたことに感謝して。

『夏合宿』

2年 無田 快 (母) 佐恵

普段の練習もそうなのですが、練習では結構頑張ってる良い調子、と思うのですが、いざ試合となるとガチガチの使えないロボットになってしまう快です。今回の合宿でも結局はそうでしたが、それでも何か1つでも習得して、そして泣いて泣いてその先にラグビーが好き、という気持ちが芽生えたように感じます。

帰宅して水曜日の夕方からは高熱を出してずっと寝込んでおりますが、来年も参加する気満々のようです。

『夏合宿』

年長 小坂 龍平 (母) 章子

龍平は土日だけ合宿に参加したのですが、最初3年生のテントの横で遊んでいましたが、途中から低学年の練習に参加させてもらい、日曜日は試合にも出させてもらいました。

急な参加で、試合の時は水筒もお弁当も何も用意していなかったので、お手伝いのお母さん方に色々お

世話になりました。本当にありがとうございました。

上の子が3年生で初参加で女の子一人だったので、行く前は心配したのですが、親の心配をよそに楽しい？合宿を満喫してきたようです。

うちの子に限らず、いつもより長く、いつもより気合いの入った練習に、一生懸命頑張っている姿は本当に感動しました。

また、5年生のお母さん方には部屋でのことなどお世話になり、ありがとうございました。

編集後記

真夏の晴れ上がった空、まぶしい太陽の下、子供たちとコーチたちの真剣勝負。そこで信じられないような変化がいつも起こる。日ごろ手抜き練習ばかりしていた子が、あるとき急に真剣になり、精神集中し、立派な顔つきになる瞬間が来る。なんとすばらしいことか。この経験はその後の人生に計り知れないほどの力になるはず。政治・経済・文化すべてが混迷を深める世界の中で、麻生 RS の子供たちは将来を任せられる頼れる大人に成長しつつあると確信。(毛利)

菅平の夏合宿はいつも子供たちを成長させてくれます。秋の県大会の向け菅平での練習が発揮できれば全勝優勝間違えなし！(DAGS 小松)

今年は、天候に恵まれ夕立も無く素晴らしい合宿となり、子供達は一回りも二回りも成長出来たと思います。県大会に向けて更に成長して欲しいものです。(6年木下)

一人ひとりの熱い思い出がたくさん詰まったリトルラグーマンでした。読んでいてまた菅平に行きたくなりました。(5年宇田)

子供って普段は本当に可愛いんですが、「意外と秘めた強い思いを持っているんだな」と改めて知ることができました。(4年上田)

今年は雨もなく最高のグラウンドで練習ができました。素晴らしい環境の中、子供達の元気な声に後押しされ、おじさんは頑張りました。来年も楽しみです！(3年亀田)

残念ながら合宿には参加できませんでしたが、子供たちの文章を読んで、みんなそれぞれに頑張った様子が伝わってきました。参加されたコーチ、父母の皆様有難うございました。(2年井上)

いつもリトルラグーマンの合宿号の編集集中に思うことは、合宿中本当に辛くて投げ出したくなっていると思われる子の原稿に一切そんなことがなく、むしろその辛さを跳ね返してやるという、気持ちが伝わってきます。(宮澤)